

京都大学（南部）医薬系総合研究棟施設整備事業  
入札説明書等に関する質問回答（第1回目）等

平成26年 6月23日

国立大学法人 京都大学

< 総 括 >

書 類	質問件数	書 類	質問件数
① 入 札 説 明 書	23	⑥ 基本協定書(案)	1
② 様 式 集	25	⑦ 事業契約書(案)	30
③ 要求水準書本文	36	⑧ 実施設計図書	115
④ 要求水準書別表・資料	39	⑨ そ の 他	2
⑤ 落札者決定基準	0		
合 計			271

- 1 本質問回答は、平成26年6月9日（月）から6月11日（水）に受け付けた京都大学（南部）医薬系総合研究棟施設整備事業の入札説明書等に関する質問を入札説明書等の項目順に整理し、その回答を記載したものです。
- 2 質問の内容は、質問者の記載どおりとしています。ただし、質問項目及び記載位置については、大学で整理していますので注意してください。

## 入札説明書等に関する質問回答（第1回目）

### ① 入札説明書に関する質問回答

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	ア	a	質問	回答
1	事業期間	4	1	6	3					事業期間のうち、施設整備業務は約1年9か月間とございますが、本事業では開業準備期間の想定はあるでしょうか。ないとすれば、施設引き渡し後において引っ越し等を行うとの理解でよろしいでしょうか。	原則として、ご理解のとおりですが、要求水準書P7の⑥において「本事業とは別途に大学が発注する移転業務（すべての移転業務のうち、重量物、大容積物、設備との接続及び調整が必要なものを中心とする。）は、原則として、本施設の引渡し予定日（平成28年9月30日）までの9月1日から9月30日にかけて行うので、選定事業者は、大学との打合せや協議に対応し、当該業務の円滑な実施に協力（工程調整を含む。）しなければならない。」としていることに留意してください。 なお、要求水準書（案）に関する質問回答（平成26年2月10日）の番号18から20への回答についても、その考え方を参照してください。
2	階数	6	1	6	4	2	③			「階数は、大学の設計どおりとする。」とございますが、「地上5階、地下2階」を「地上6階、地下1階」にする等、階数構成を変更するVE提案は不可との理解でよろしいでしょうか。また、建築面積を増やして階数を減らすようなVE提案も不可との理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
3	付帯事業を行う場所	7	1	6	4	3	③	ア		「その他の共用部分」とは各実験室・研究室、「交流スペース（アウトリーチエリア）」「リフレッシュスペース（各階）」以外の部分（各階廊下等）と考えてよろしいでしょうか。	原則として、ご理解のとおりですが、具体的には、付帯事業提案に関する一連の手続において明確にするものとします。
4	競争参加資格等	9	1	8	1	2				PFI事業者の下請業者が国土交通省から営業停止処分の予定がある場合、下請業者としての施工は可能でしょうか。	本事業における入札手続の諸要件を満たすとともに、当該処分の期間が、下請契約の締結の日以降に及ばなければ可能です。
5	入札参加者及び協力会社の資格等要件	12	1	8	1	3	①	オ	a	設計に当たる者の参加要件として、専任配置する管理技術者及び主任担当技術者の設計	ご理解のとおりです。

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	ア	a	質 問	回 答
										実績の建物用途が「公共施設」とございます。「公共施設」には学校法人の大学施設も含まれるとの理解でよろしいでしょうか。	
6	入札参加者及び協力会社の資格等要件	13	1	8	1	3	②	ウ	b	建設に当たる者の参加要件として要求されている建物規模について、複合構造で鉄骨鉄筋コンクリート造の部分が述べ面積5,000㎡以上であれば、実績として要件を満たしているとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
7	入札保証金	24	1	15	1					「ただし、落札者が基本協定を締結しないとき、又は、選定事業者が事業契約を締結しないときは、違約金として、落札した金額の100分の5に相当する額を大学に支払わなければならない」とございますが、基本協定もしくは事業契約が締結できない理由が選定事業者にはない場合には違約金の負担は生じないとの理解でよろしいでしょうか。	原則として、ご理解のとおりですが、「落札者」、「選定事業者」としていることに留意してください。
8	保険	29	1	24						維持管理期間中に付保する保険については、事業者の提案によるもので、大学側からの指定・条件はないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
9	保険	29	1	24	1	2	③			保険期間の終期が「工事完成の予定日」と記載されておりますが、この意味は事業契約書（案）の定義に定める「引渡日」という理解でよろしいですか。念のため確認します。	ご理解のとおりです。事業契約書（案）第1条第1項（19）、第18条第1項を参照してください。
10	保険	29	1	24	1	3	②			保険期間の終期が「工事完成の予定日」と記載されておりますが、この意味は事業契約書（案）の定義に定める「引渡日」という理解でよろしいですか。念のため確認します。	番号9への回答を参照してください。
11	保険	30	1	24	1					建設工事に必須となる保険の記載はございますが、維持管理期間中の保険については、付保する、付保しないを含めて事業者の判断に任せるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
12	入札金額が予定価格を超え	34	2	5	4					入札者全員の入札金額が大学が設定する予定価格を超える	入札者全員の入札金額が、大学が設定する予定価格を超え

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	ア	a	質問	回答
	る場合の措置									場合、最低価格で入札した事業者と法令に従って協議をする場合もあると考えてよろしいでしょうか。	た場合は、原則として、入札条件を再検討した上で、再公告する予定です。
13	サービス購入費の支払い方法	38	添	2	1	1				維持管理費相当の「カその他の費用」については、「上記ア～エ以外」ではなく、「上記ア～オ以外」ではないでしょうか。	ご理解のとおりです。施設費相当の「クその他の費用 その他上記アからク以外…」を「クその他の費用 その他上記アからキ以外…」に、維持管理費相当の「カその他の費用 その他上記アからエ以外…」を「カその他の費用 その他上記アからオ以外…」に、それぞれ修正します。
14	サービス購入費の構成	38	添	2	1	1				施設整備期間に必要となるSPC開業費、SPC運営費、融資組成費、保険料等については、「施設整備費相当－施設費相当（施設整備業務）－クその他の費用」に計上するとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
15	サービス購入費の構成	38	添	2	1	1				維持管理期間に必要となるSPC運営費、保険料、SPC利益等については、「維持管理費相当－カその他の費用」に計上するとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
16	サービス購入費変更	41	添	2	3	1				施設費を変更した場合にかかる金融関連費用・弁護士費用等は大学にご負担していただけるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。ただし、大学が負担する当該費用については、合理的な範囲に限られることに留意してください。
17	施設費相当の変更について	41	添	2	3	1	①			施設費相当の変更の請求が、事業契約締結の日から12か月を経過しないと行えないとなっていますが、昨今の建設物価上昇の傾向を踏まえ、施設費相当の変更の請求を事業契約締結の日から6ヶ月程度で行えるように検討していただけないでしょうか。	①は、いわゆる「スライド条項」であり、ご質問の事項は、⑤いわゆる「単品スライド条項」、⑥いわゆる「インフレ条項」で取り扱うこととなります。
18	施設費相当の変更について	41	添	2	3	1	①			「日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により施設費相当が不相当となったと認めるとき」に施設費相当の変更を請求できるとございますが、具体的にどのような状況になった場合（物価指数等）に施設費相当が不相当と認め	②において規定されているように、差額（≒変動）が変動前残工事代金額の1000分の15を超える状況を想定しています。 なお、③の「物価指数等」は、政府の各種統計、日本銀行等の公表する価格指数、その他

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	ア	a	質 問	回 答
										られるのかご教示ください。	社会的に相当程度信頼されている資料等を想定しています。
19	施設費相当の変更について	41	添	2	3	1	⑤			「主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ」とございますが、著しい変動とは具体的にどの程度の変動を想定されているのでしょうか。	⑤を適用するためには、特別な要因により本施設の完成・引渡しの日までに主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ、施設費相当が不相当となることが必要です。ここでの「特別な要因」とは、具体の事情を見きわめて判断されるもので一概に定義することはできませんが、石油価格の引上げのような輸入価格の変動等であって、建設資材の価格に著しい影響を与え、又は与えるおそれのある原因はこれに該当すると認識しています。いずれにしても、そのような原因はおおかたの発注者及び請負者が共通の認識をもって、その影響の重要性を客観的に認めるようなものである場合が通常であると認識しています。
20	実施設計図書の変更設計	45	添	5						実施設計図書の変更設計により計画通知の変更手続きが必要になる場合の変更設計者の名義は京都大学と事業者の連名になるのか、あるいは事業者単独となるのかご教示願います。	特定行政庁との協議にもありますが、現段階では、事業者単独を想定しています。
21	V E 提案要領	46	添	8						「入札書等及び提案書に反映されたV E 提案が選定事業者の責めに帰すことのできない事由により工事着工前又は工事中に実施不可能となった場合は、大学及び選定事業者は建設工期及び工事内容等について協議する。この場合、本件工事費の増額及び本施設の引渡日を変更することはできないものとする。」とございますが、実施方針に関する一般質問回答等のNo. 138では、「原則として工事費の増額及び引渡し日の変更は避けたいという趣旨であり、一方的に選定事業者に不合理な負担を強いるものではない」との回答をいただいております	ご理解のとおりです。なお、事業契約書（案）第11条第10項の解釈においても同様とします。

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	ア	a	質問	回答
										が、趣旨の変更はないとの理解でよろしいでしょうか。	
22	付帯事業	47	添	3	1	1	①			「付帯事業の施設整備業務」とは、選定事業者の提案により大学が示す施設整備業務の標準仕様の範囲を超えて整備する内容（模様替え・厨房設備の設置等）との理解でよろしいでしょうか。	入札説明書P48から49の「(1)大学から本施設の長期貸付を受ける付帯事業」の「付帯事業の施設整備業務」において、詳細かつ具体的に規定していますので、そちらを参照してください。
23	付帯事業	48	添	5						アウトリーチエリアに置く家具（椅子・テーブル・ソファ等）は大学で別途用意されると理解していますが、提案する付帯事業の内容により事業者から提案することは可能でしょうか。	事業者が、(付帯事業提案において)提案することを妨げるものではありませんが、大学が、当該提案に基づいて家具等を整備することを約束することはできません。具体的には、付帯事業提案に関する一連の手続において協議するものとします。

## ② 様式集に関する質問回答

番号	質問項目	頁	様式	章	1	(1)	1)	①	ア	質問	回答
24	提出書類の作成方法について	3		2	4					各様式において、提案内容を補完する資料の添付を行うことは、可能でしょうか。	様式集で、資料等の添付を求めている、あるいは、認めている場合を除いて、資料等の添付は不可とします。
25	提出書類の作成方法について	3		2	4	2				図表・イラスト等を採用してもよいとございますが、その中で使用する文字の大きさは10ポイント以下でも構わないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりですが、読みやすさに配慮してください。
26	提出書類の作成方法について	3		2	4	6				各様式の欄外にある◆脚柱部分は削除して提出してもよろしいでしょうか。ご教示ください。	脚柱部分の作成要領（◆注意書等）は、削除しても問題ありません。
27	提案書の提出書類について	5		2	5	7	1			「正本（製本1部）」とございますが、入札直前の差し替え等にも対応できるよう「正本（バインダー綴じ）」としていただけないでしょうか。	原案のとおりとします。ただし、「正本（製本1部）」の提出は、提出後の原本管理が目的であり、例えば、バインダー綴じする直前に、内容物一式をホチキス等で締結することでよいものとします。
28	提案書の提出書類について	5		2	5	7	3			「EXCELデータは、計算式等を含むものとしてください。」とございますが、これは、<様式39>長期事業収支計画表（損益計算書）、<様式40>長期事業収支計画表（資	ご理解のとおりです。<様式39～40>に記載されている数値の根拠（例えば、半期ごとの金利計算等）が、ある程度、トレースできるものを想定しており、可能な範囲で、

番号	質問項目	頁	試	章	1	(1)	1)	①	ア	質 問	回 答
										金収支計算書等)を作成するに当たり、提案者にて作成したキャッシュフロー表を含めて、提出することを意図しているとの理解でよろしいでしょうか。	当該様式と同一BOOKに別SHEETで添付(データを<様式39~40>とリンクさせる。)することを想定しています。なお、当該別SHEETは、プリントアウトして提案書(説明書)に組み込む必要はありません。
29	設計に当た る者の資格要件 に関する書類	18	8							入札参加グループの代表企業が設計業務を担う場合には、入札参加グループの構成員に○を付ければよろしいでしょうか、ご教示ください。	ご理解のとおりです。
30	建設に当た る者の資格要件 に関する書類	20	9							入札参加グループの代表企業が建設業務を担う場合には、入札参加グループの構成員に○を付ければよろしいでしょうか、ご教示ください。	ご理解のとおりです。
31	工事監理に当 たる者の資格要件 に関する書類	23	10							入札参加グループの代表企業が工事監理業務を担う場合には、入札参加グループの構成員に○を付ければよろしいでしょうか、ご教示ください。	ご理解のとおりです。ただし、入札説明書P11の3)において「ただし、建設に当たる者と工事監理に当たる者については、これを兼務することはできないものとする。」としていることに留意してください。
32	維持管理に当 たる者の資格要件 に関する書類	25	11							入札参加グループの代表企業が維持管理業務を担う場合には、入札参加グループの構成員に○を付ければよろしいでしょうか、ご教示ください。	ご理解のとおりです。
33	入札参加企業 又は入札参加 グループの構 成員並びに協 力会社の納税 に関する書類	26	12							入札参加グループの代表企業を記載する場合には、入札参加グループの構成員に○を付ければよろしいでしょうか、ご教示ください。	ご理解のとおりです。
34	VE提案書受 付日時	29	14							VE提案書の受付日時は「平成26年7月3日(木)から7月7日(月)17時までの間」が正との理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。「平成26年7月3日(木)から7月4日(金)…」を「平成26年7月3日(木)から7月7日(月)…」に修正します。
35	VE提案個票 のVE提案の 効果欄	32	16							初期建設費が同額もしくは増加する場合であっても、ランニングコストでの縮減効果の方が大きな額になるという提案もVE提案として認められるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。VE提案には様々な組合せが想定できますが、要求水準書P44の「3 VE提案の範囲」を満たすのであれば、①品質等(中長期の維持管理費等の削減を含む)↑・コスト(入札金額)↑、②品質等↑・コスト→、

番号	質問項目	頁	試	章	1	(1)	1)	①	ア	質 問	回 答
											③品質等↑・コスト↓、④品質等→・コスト↑、⑤品質等→・コスト→、⑥品質等→・コスト↓等のいずれであってもよいものとします。ちなみに、ご質問のケースは、上記の①、②に相当します。 (凡例/↑:アップ、→:アップダウンなし/↓:ダウン)
36	V E 提案個票の V E 提案の効果欄	32	16							コスト削減効果欄に初期建設費、修繕更新費、維持管理費、光熱水費、その他経費と記載がございますが、これは提案する V E 提案がコストを削減する費用についてのみ記載すればよいとの理解でよろしいでしょうか。	当該 V E 提案により、項目毎に概略の「コスト増・減額」と、それらを合計したところの「コスト増・減額結果」を記載してください。なお、維持管理費等については、期間（年間・10年間・30年間等）を明確にするなど、可能な限り具体的に記載してください。
37	V E 提案個票の V E 提案の効果欄	32	16							合計欄がございますが、ランニングコストである修繕更新費等については、何年間の削減効果を記載すればよいのかご教示ください。	提案者の判断によるものとしますが、大学が当該 V E 提案の採・否を決めるための資料の一部であることに配慮してください。なお、番号 36 への回答も参照してください。
38	付帯事業提案書受付日時	33	17							付帯事業提案書の受付日時は「平成 26 年 7 月 3 日（木）から 7 月 7 日（月）17 時までの間」が正との理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。「平成 26 年 7 月 3 日（木）から 7 月 4 日（金）…」を「平成 26 年 7 月 3 日（木）から 7 月 7 日（月）…」に修正します。
39	b 実施体制等	51	32							入札参加企業、入札参加グループの構成員、協力企業のほか、アドバイザー・金融機関・会計監査法人等の名称も記載してよいとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。ただし、提案審査においては、当該名称部分を MASK（墨塗り）して行います。
40	b 実施体制等	51	32							「統括責任者及び各業務責任者については氏名を明らかにして記載」とのことですが、人事異動等も想定されますので、あくまで配置予定者との理解でよろしいでしょうか。	入札説明書 P 12 の L（行）7 のただし書きの趣旨を準用し、複数名の候補者についての記載であってもよいものとします。
41	長期事業収支計画表（損益計算書）	59	39							本様式には、付帯事業の収支について反映させる必要はないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。付帯事業の収支がその他の収支に悪い影響を与えないことを前提条件とし、長期事業収支計画表（損益計算書）には、付帯事業の収支を反映させないものとしてください。
42	長期事業収支	59	39							本事業は、平成 41 年 3 月 3	ご理解のとおりです。なお、

番号	質問項目	頁	試	章	1	(1)	1)	①	ア	質 問	回 答
	計画表(損益計算書)									1日(平成40年度末)に終了しますが、長期事業収支計画書(損益計算書)は、平成41年度まであります。平成41年度については、提案者の必要に応じて利用するとの理解でよろしいでしょうか。	様式集P64～65において、「損益計算書」には、予算ベースや対象年度(年月)に応じて記載(発生ベース)してください。」「資金収支計算書等」には、実際の受取や支払の年度(年月)に応じて記載(現計(現金)ベース)してください。」としていることに留意してください。
43	長期事業収支計画表(資本収益計算書等)	60	40							本事業は、平成41年3月31日(平成40年度末)に終了しますが、長期事業収支計画書(資金収支計算書等)は、平成41年度まであります。平成41年度については、提案者の必要に応じて利用するとの理解でよろしいでしょうか。	番号42への回答を参照してください。
44	ク その他の費用	61	41							<様式41>の「施設費相当」の「クその他の費用」がございしますが、この欄に施設整備期間中のSPC関連費用を記載するとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。入札説明書P38の<サービス購入費の構成>と対応させています。
45	入札金額内訳書(維持管理費)	63	43							費目の「諸経費」「その他」に計上すべき費用項目についてご教示ください。(例えば、「清掃業務費用」であれば諸経費は清掃員の制服代で、その他は清掃資器材費等)	入札参加者の判断によるものとしませんが、積算根拠欄に基本的な考え方を簡潔に記載してください。
46	カ その他の費用	63	43							維持管理費相当の内訳書・全体の中に、「カその他の費用」の欄がございしますが、この中に維持管理期間中のSPC関連費用やSPC利益・税金等を記載するとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。入札説明書P38の<サービス購入費の構成>と対応させています。
47	事業計画に関する提案書の作成にあたっての注意事項	65	40							LLCR算出には劣後ローンは加味しないでよろしいでしょうか。	入札参加者の判断によるものとしませんが、金融機関との(優先)貸付条件やその他資金提供者との(劣後)貸付条件等を満たしている必要があります。
48	事業計画に関する提案書の作成にあたっての注意事項	65	40							「※現在価値換算の割引率は優先借入の加重平均としてください」とのことですが、優先ローンの借入先が1社の場合、その金利でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

### ③ 要求水準書本文に関する質問回答

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
49	遵守すべき法規制等	3	1	3	1					5月30日の説明会にて、本施設はビル管理衛生法に定められている項目は実施しないとの説明がございましたが、理由をご教示ください。	監督官庁との協議の結果、本施設は、いわゆる「ビル管法」の特定建築物としての適用を受けないことになりました。したがって、当該法定検査等を実施する必要はなくなりますが、要求水準書P9の1において「選定事業者は、本施設の引渡し後事業期間終了までの間、本要求水準書に従い、施設及び建築設備等の初期の機能及び性能等を常に発揮できる最適な状態に保ち、施設の利用者が安全かつ快適に利用できるような品質、水準等を保持することを目的とする。」としていること、及び、一般事項や各業務の要求事項等に基づき、当該法定点検等に準じた検査等を、必要に応じて、適宜、実施することを妨げるものではありません。
50	遵守すべき法規制等	3	1	3	1					遵守する法規制等として要求水準書（案）には「建築物の衛生的環境の確保に関する法律」が記載されておりましたが、要求水準書には記載がありません。建物用途が学校であれば延床面積が8,000㎡以上で法律に該当すると思われませんが、本施設は法律の対象外となるのでしょうか。	番号49への回答を参照してください。
51	建設業務	6	2	1	1	5	①			「隣接する物件」とございますが、「近接する建物」との違いについてご教示ください。	明確な違いを想定しているわけではありませんが、しいていうならば、既存環境の保護の対象である「隣接する物件」とは、本施設の工事において隣に接している物件（地中埋設管、建物の部分を含む工作物等）を、環境対策の対象である「近接する建物」とは、本施設の工事において近くに接している建物をいいます。いずれにしても、当該項目の趣旨等を十分に理解し、建設業務及び工事監理業務を履行するものとします。
52	引渡しに必要	8	2	1	2	1	④			本事業において事業者が不動	事業者と建設企業における工

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
	な手続等									産取得税を負担することはないと考えてよろしいでしょうか。	事請負契約に必要な条項を追加するとともに、一定の条件を満たすことにより、不動産取得税は非課税になるものと認識しています。ただし、大学は、課税する者、あるいは、課税を受ける者ではありませんので、入札参加者において確認をお願いします。なお、要求水準書（案）に関する質問回答（平成26年2月10日）の番号19への回答についても、その考え方を参照してください。
53	維持管理業務	9	3	2						維持管理業務の総括責任者・業務責任者・業務担当者の執務スペースとして1階共通管理室の一部を無償で使用できるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。なお、要求水準書（案）に関する質問回答（平成26年2月10日）の番号34への回答についても、その考え方を参照してください。
54	維持管理業務	9	3	2						維持管理業務で使用する資材等の置場所として、建物内の倉庫等を無償で使用できるとの理解でよろしいでしょうか。	番号53への回答を参照してください。
55	維持管理業務に関する要求水準	9	3	2	2	11				「学生等による故意の破損、落書き等について・・・協議の上、修繕等を実施する」とございますが、この場合は大学にて当該修繕費をご負担いただけるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。なお、協議には、当該修繕の内容とともに、必要となる費用についても含めるものとします。
56	維持管理業務	10	3	2	6					「法令等により資格を必要とする業務の場合には、各有資格者を選任する」とございますが、具体的に必要となる業務ならびに資格についてご教示ください。	本施設の維持管理業務において、通常必要となる資格（例えば、建築基準法に基づく各種検査、消防法に基づく各種点検等々において必要となる資格）以外に、特別な資格が必要となる業務はないものと認識しています。
57	(6) 法令等の遵守	10	3	2	6					「文教施設保全業務標準仕様書」について、参考資料としてご開示いただけませんかでしょうか。	文部科学省の下記HPよりダウンロード下さい。 <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2014/03/12/1293802_13.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2014/03/12/1293802_13.pdf</a>
58	(6) 法令等の遵守	10	3	2	6					本施設は、「建築物の衛生的環境の確保に関する法律」に該当するという理解で宜しいでしょうか。また、該当する場	番号49への回答を参照してください。

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
										合、法定上必要となる建築物環境衛生管理技術者の選任は大学側で実施いただけるとの理解で宜しいでしょうか。	
59	(8)その他留意事項	10	3	2	8	2				消耗品等について大学から支給とありますが、現物支給との理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
60	維持管理業務	11	3	2	8	9	①			総括責任者と業務責任者の兼任、各維持管理業務間での業務責任者の兼任は、それぞれ可能であるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。総括責任者と業務責任者の兼任、各維持管理業務間での業務責任者の兼任は、それぞれ可能です。
61	維持管理業務	11	3	2	8	9	②			業務担当者は、当該維持管理業務の業務責任者を兼任することは可能であるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。維持管理業務の業務責任者と当該維持管理業務の業務担当者の兼任は可能です。
62	建物保守管理業務の業務内容	12	3	3	1					平成26年2月10日公表の要求水準書(案)に関する質問回答NO63及び64において、「本事業における「空気環境測定・水質検査」、「害虫駆除」は「建物保守管理業務」に含めるものとし、当該箇所を修正します。」と記載ありましたが、建物保守管理業務の要求水準には「空気環境測定・水質検査」、「害虫駆除」の項目の記載がありません。「空気環境測定・水質検査」、「害虫駆除」については本事業の対象外となるのでしょうか。	番号49への回答を参照してください。
63	建築設備保守管理業務	13	3	4	2	1				業務内容によっては、放射線等区域に立ち入る可能性があります。線量計等労働安全衛生法上の管理が必要となる場合は、発注者から必要備品等貸与いただけると考えてもよろしいでしょうか。	線量計の携帯等、労働安全衛生法上の管理が必要となるようなケースは想定しておりません。
64	責任範囲が明確でない場合の協議	14	3	4	2	3				当初の想定と異なる建物設備の使用により修繕が発生した場合には、大学にて当該修繕費をご負担いただけるとの理解でよろしいでしょうか。	当初の想定と異なる建物設備の使用は、一般的に起きうることであり、その内容や程度が問題となります。したがって、個別具体的な状況に基づいて、大学の責任(使用上責任等)、事業者の責任(施設整備業務・維持管理業務上責任等)、あるいは、責任範囲が明確でない場合に該当するかどうかを含めて、大学と事業者

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
											で協議するものとします。なお、本施設の事業者の責めによらない事故若しくは火災等による損傷（修繕）については、事業契約書（案）第56条第3項を適用するものとします。
65	建築設備保守管理業務	14	3	4	3					本施設にかかる受変電設備の電気主任技術者の選任は大学側との理解で宜しいでしょうか。その場合、遵守すべき保安規程等がありましたら、参考資料としてご開示いただけませんか	ご質問の前段については、ご理解のとおりです。ご質問の後段については、要求水準書P4の「22)京都大学自家用電気工作物保安規程」を参照してください。
66	建築設備保守管理業務 (③ガス設備)	14	3	4	3	2	③			医療ガス設備については設備機器の点検・保守・修繕が業務範囲で、ガス残量の確認、補充（立会い含む）は、大学側で実施いただけるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
67	建築設備保守管理業務	15	3	4	3					項目に記載のない研究室及び実験室で使用される特殊設備（緊急用シャワー、ドラフトチャンバー、実験排水関連設備等は除く）については維持管理対象外との理解でよろしいでしょうか。特殊な設備がある場合、設備項目・内容についてご教示ください。	本事業の施設整備業務で設置された各種設備等（付帯設備を含む、以下同じ。）は、特段の記載がない限り、全て本事業の建築設備保守管理業務の対象となります。当該各種設備等については、【資料1 実施設計図書】で確認してください。したがって、【資料1 実施設計図書】に記載のない各種設備等については、本事業の建築設備保守管理業務の対象となることはありません。なお、要求水準書の各業務の「要求水準（項目、内容等）」は、本事業の建築設備保守管理業務の対象のうち、主なものについてのみ記載したものです。
68	建築設備保守管理業務	15	3	4	3					設備の保守・点検・修繕の業務範囲として、手術室における无影灯、シーリングペンダント、モニター等は業務範囲に含み、MRI室・CT室における医療機器は業務範囲外との理解でよろしいでしょうか。	番号67への回答を参照してください。
69	建築設備保守管理業務(⑩付帯設備)	15	3	4	3		⑩			付帯設備の具体的な設備についてご教示ください。	番号67への回答を参照してください。

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
70	主な業務の頻度等	16	3	4	3					主な業務の頻度等において、「防火管理定期点検 年1回(動物施設内を含む)」とありますが、防火対象物定期点検と防災管理定期点検のどちらを実施するのでしょうか。	「防災管理定期点検」を実施するものとし、「防火対象物定期点検」は実施する必要はありません。
71	主な業務の頻度等	16	3	4	3					主な業務の頻度等において、「防火管理定期点検 年1回(動物施設内を含む)」とありますが、建物用途が学校であれば防火対象物定期点検の対象外となり、5階建て延床面積11,888.10㎡に建物規模では防災管理定期点検の対象外となります。法定点検には該当しませんが、点検を実施するのでしょうか。	構内の他の建物も含めた延べ面積が規定の規模を超えるため、「防災管理定期点検」を実施する必要があります。
72	外構施設保守管理業務	17	3	5	3	1				外構施設保守管理業務において、植栽の管理(草刈りや剪定、水やり等)は業務範囲外との認識でよろしいでしょうか。	外構施設保守管理業務には、植栽の管理(除草、剪定、施肥、散水、消毒等)を含むものとします。
73	清掃業務	17	3	6						清掃作業員の更衣室及び待機場所として、1F共通管理室等の一部を無償で利用できるとの理解でよろしいでしょうか。	番号53への回答を参照してください。
74	建物清掃	18	3	6	4			※		本施設の喫煙場所をご教示ください。	本施設には「喫煙場所」を設置しません。
75	清掃業務	19	3	6	4					共用部【廊下、階段、トイレ、講義室等】清掃が2回/週となっており、例えばトイレや廊下等は毎日実施が必要と思慮しますが、大学が想定されている作業内容、品質について、ご教示いただけないでしょうか。	当該頻度等は、関連法令等によるもの以外(関連法令等による頻度等を超えるものを含む。)は大学の想定であり、当該想定にあたっては、該当各個所を平均的にとらえたものです。当該頻度を下回っても問題のない箇所、当該頻度では不足する箇所(要重点清掃箇所)が含まれて(混在して)います。したがって、具体的な頻度等(該当箇所毎の頻度等)については、要求水準書P9の目的としているところ、及び、一般事項や各業務の要求事項等に基づくとともに、事業者の提案によるものとします。
76	清掃業務	19	3	6	4	5				窓ガラス清掃(外面)について、北面・南面・西面はバルコニーから作業、東面は屋上	ご理解のとおりです。なお、実施設計図書を確認してください。

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
										丸環を利用しての作業を可能とし、仮設の足場、クレーン車等を利用することなく作業できるとの理解でよろしいでしょうか。	
77	清掃業務	20	3	6	8	2	①			1階ゴミ置き場で集積されているゴミの分別については学生及び教職員が自ら行うとの理解でよろしいでしょうか。	学生及び教職員が1階のゴミ置場まで運搬・集積するゴミについては、ご理解のとおり、学生及び教職員が自ら分別も行います。なお、事業者が1階のゴミ置場まで運搬・集積するゴミについては、事業者が分別を行ってください。
78	警備業務	21	3	7	1	2				薬学部総合研究棟、薬学部本館についてはカードロック式扉とし、セキュリティ管理を行う必要があるのでしょうか。	薬学部本館については、ご理解のとおりです。薬学部総合研究棟については、要求水準書を変更し、最終退館扉の警備は不要とし、火災警備及びフラッシュライト設置のみとします。
79	警備業務	21	3	7	1	2				医薬系総合研究棟においてカードロック式扉の警備を行うに当たり、事業者で調達しなければならないカード枚数をご教示ください。また、薬学部総合研究棟及び薬学部本館についてもカードロック式扉を導入する場合、必要なカード枚数をご教示ください。	ご質問の前段（医薬系総合研究棟）については、施設使用者が所持している大学の認証カード及び学生証により警備を行うシステムを想定しており、予備として20枚程度を用意してください。ご質問の後段（薬学部本館）については、各室3枚程度を用意してください。なお、薬学部総合研究棟については、要求水準書を変更し、カードは不要とします。
80	警備業務	21	3	7	1	3				エレベーター閉じ込め通報に基づく警備が求められていますが、警備ではエレベーターを開けることができませんので、通報に基づく現場確認、エレベーター会社への連絡、エレベーター会社が到着するまでの声かけで宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
81	警備業務	21	3	7	3					防火管理者は大学側で選任されるとの理解でよろしいでしょうか。その場合、消防計画書等の消防関連の資料作成についても大学側で行っていただけるとの理解でよろしいでしょうか。	ご質問の前段については、ご理解のとおりです。ご質問の後段については、大学が行う消防関連の資料作成において、事業者には、資料の提供とともに、資料作成の支援（協力）をお願いします。

番号	質問項目	頁	章	1	(1)	1)	①	-	-	質 問	回 答
82	付帯事業	22	4	2						付帯事業で発生する廃棄物についてもゴミ分別要項（資料10）に従い、1Fゴミ置場に集積しておけば、その他のゴミと一緒に大学にて処理されとの理解でよろしいでしょうか。	付帯事業で発生する廃棄物が、本施設の使用にとまない発生する他の廃棄物の集積・廃棄に支障をきたさない範囲であり、かつ、法律を遵守した内容であれば、ご理解のとおりとします。
83	付帯事業の事業期間	23	4	2	5					本体事業（本事業）の事業期間とございますが、これは施設整備期間を除く維持管理業務及び運営業務の全期間との理解でよろしいでしょうか。	本体事業（本事業）の事業期間は、事業契約締結の日から平成41年3月31日までとなります。なお、付帯事業によるサービス提供期間は、原則として、平成28年10月1日より平成41年3月31日までとなります。
84	付帯事業の貸付料	23	4	3						貸付料を21,000円/年・㎡と規定していますが、大学構内の立地条件から考えると高いと思われます。①どの様な基準から算出されたのでしょうか、②減額をいただけないでしょうか。	ご質問の前段については、学内の貸付事例に基づいて算出しています。ご質問の後段については、原案のとおりとします。

#### ④ 要求水準書別表・資料に関する質問回答

番号	質問項目	表資 番号	00 枚目	上中 下段	-	-	-	-	-	質 問	回 答
85	業務内容 ①点検業務、②③点検業務	1	1	上段						①点検業務【建物・外構】、②、③点検業務【電気・防災設備】【機械設備】において、大学職員の立会が必要な居室については平日の8:00～19:00に実施することが基本であるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
86	業務内容 ⑤清掃業務	1	4	中段						講義室やセミナー室等共同利用する居室が清掃範囲に含まれていますが、想定される使用時間帯を開示してください。	原則として、大学の授業時間内（1限8:45～5限18:00）と同じですが、特別な行事を開催する場合等においては、これに限るものではありません。
87	高強度せん断補強筋の適用範囲	4	28	中段						高強度せん断補強筋の溶接閉鎖型が計上されています。適用範囲は柱帯筋のみと考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
88	軽量コンクリート	4	30	上段						軽量コンクリートFC18NS15 r1.85 嵩上げコンクリートが計上されていますが、図面中に記載がありま	MRI室の嵩上げコンクリートのみ軽量コンクリートです。

番号	質問項目	表資 番号	〇〇 枚目	上中 下段	-	-	-	-	-	質 問	回 答
										せん。施工範囲をご教示願います。	
89	型枠運搬車両	4	32	下段						型枠運搬費の摘要に「4 t 車」と記載がございますが、大型車の利用も可能との理解でよろしいでしょうか。	4 t 車を標準と考えていますが、大型車の利用も検討が可能です。
90	人通孔	4	32	中段						地下ピット内人通孔のか所数がピット詳細図（A30）と参考数量内訳書で下記のように食い違いが見られます。ピット詳細図（A30）が正しいと考えてよろしいでしょうか。 ピット詳細図（A30）／参考数量内訳書 人通孔L450－2か所／無し 人通孔L800－64か所／64か所 人通孔L1200－9か所／64か所	ピット詳細図（A30）を正とします。
91	打放し面補修	4	33	上段						打放し面補修A種コーン処理が計上されていますが、図面中に記載がありません。施工範囲をご教示願います。	塗装、撥水剤、素地部分です。
92	笠木	4	35	中段						笠木 塗膜防水 X－2 W380（3m）が計上されていますが、図面中に記載がありません。施工範囲をご教示願います。	2階屋根5、6 手摺支柱部です。
93	落とし口	4	41	上段						落とし口 φ65用 7.6mが計上されていますが、医ガスボンベ庫 軒樋用の落とし口とし、1か所と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
94	横引き樋	4	41	中段						横引き樋 カラーVPφ100 掴み金物 26.1mが計上されていますが、施工範囲をご教示願います。	各縦樋から擁壁外までの延べ長さです。
95	地中埋設管	4	41	中段						地中埋設管 VPφ100 12.9mが計上されていますが、施工範囲をご教示願います。	上記横引樋から最寄り会所柵までの延べ長さです。
96	メカニカルバルコニー 床材	4	43	中段						メカニカルバルコニー 床材がグレーチング敷きで計上されていますが、部分詳細図－9（A85）ではエキスパンドメタルです。部分詳細図－9（A85）が正しいと考	部分詳細図－9（A85）が正です。

番号	質問項目	表 資 番 号	00 枚 目	上 中 下 段	-	-	-	-	-	質 問	回 答
										てよろしいでしょうか。	
97	屋上 目隠しルーバー	4	44	下段						目隠しアルミルーバーが100 x 60 @ 210で計上されていますが、部分詳細図-10 (A86) では@210と@375の使い分けがございます。部分詳細図-10 (A86) が正しいと考えてよろしいでしょうか。	部分詳細図-10 (A86) が正です。
98	アルミルーバー	4	45	上段						軒先外壁面 アルミルーバーが横型11段で計上されていますが、部分詳細図-7 (A83) では横型6段です。部分詳細図-7 (A83) が正しいと考えてよろしいでしょうか。	部分詳細図-7 (A83) が正です。
99	タラップ	4	45	中段						RF屋上塔屋、B1、2Fドライエリア・RF屋上塔屋のタラップのH寸法が部分詳細図-10 (A86) と参考数量内訳書で下記のように食い違いが見られます。部分詳細図-10が正しいと考えてよろしいでしょうか。 部分詳細図-10 (A86) / 参考数量内訳書 B1F Y0通りタラップーH4700/H3700 B2F Y0通りタラップーH5050/H5300 塔屋階タラップーH2700/H2500 塔屋階タラップ背カゴーH1600/H800	参考数量内訳書が正です。
100	タラップ	4	45	中段						参考数量内訳書 金属工事 P45でB1、B2Fドライエリア、RF屋上塔屋のステンレスタラップの表面仕上がHLで計上されていますが、特記仕様書(3)(特3号)ではステンレス研磨無しです。特記仕様書(3)(特3号)が正しいと考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書(3)(特3号)が正です。
101	屋上 丸環	4	46	上段						部分詳細図-7 (A83) で屋上丸環の記載がございますが、径は参考数量内訳書よりφ22とと考えてよろしいでしょうか。	屋上丸環の径はφ22です。
102	折上天井見切	4	49	下段						2Fリフレッシュ折上天井見	A80図 A断面、C断面を参

番号	質問項目	表資 番号	00 枚目	上中 下段	-	-	-	-	-	質 問	回 答
	縁									切縁延W100 1.9m、延W195 6.9mが計上されていますが、図面中に記載がありません。施工範囲をご教示願います。	照してください。
103	ACWブライ ンドボックス	4	49	上段						ACW ブラインドボックス 延W930 2.5mが計上されていますが、図面中に記載がありません。施工範囲をご教示願います。	4階リフレッシュコーナーです。
104	スクリーンボ ックス	4	49	中段						スクリーンボックス（アルミ W1400 1か所）が計上されていますが、図面中に記載がありません。設置場所をご教示願います。	1階 教務掛です。
105	サイン下地幕 板	4	50 51	下段 上段						1Fホールサイン下地幕板の W寸法が1階平面詳細図－ 2・4（A40・42）と参考 数量内訳書で下記のように 食い違いが見られます。1階 平面詳細図－2・4（A40・ 42）が正しいと考えてよろ しいでしょうか。 1階平面詳細図－2・4（A 40・42）／参考数量内訳 書 1Fホール サイン下地幕板 －W3205／W3150 1Fホール サイン下地幕板 －W1610／W1610 1Fホール サイン下地幕板 －W8370／W8350 1Fホール サイン下地幕板 －W2350／W2300	1階平面詳細図－2・4（A 40・42）が正です。
106	壁付手摺下地 補強	4	54	下段						壁付手摺下地補強の記載がご ざいですが、図面中仕様が不 明です。参考数量内訳書 金属 工事でスチールT1.0 H2 00と記載がある為、壁付手 摺下地補強は全てスチールT 1.0 H200と考えてよろ しいでしょうか。	お考えのとおりです。
107	床防水モルタル 塗	4	59	中段						床防水モルタル塗 17.3m 2が計上されていますが、図 面中に記載がございません。 施工範囲をご教示願います。	屋上EPS内です。
108	立上り防水モ ルタル塗	4	59	中段						立上り防水モルタル塗 4m 2が計上されていますが、図 面中に記載がございません。 施工範囲をご教示願います。	屋上EPS内です。

番号	質問項目	表資 番号	00 枚目	上中 下段	-	-	-	-	質 問	回 答
109	アルミニウム製建具性能	4	60	上段					アルミニウム製建具の性能が耐風圧性：S-4・気密性：A-4・水密性：W-5で計上されていますが、特記仕様書（3）（特3号）より、耐風圧性：S-4・気密性：A-3・水密性：W-4と考えてよろしいでしょうか。	各メーカー仕様に合わせてください。最低基準が特記仕様書（3）（特3号）のとおりです。
110	枠立上りH300部ステンレス枠	4	69 ～ 75						下記建具に枠立上りH300部ステンレス枠が計上されていませんが、建具表-1（A69）の一般共通事項より、外部建具の為、ステンレス枠が必要と考えてよろしいでしょうか。 SD-04～SD-11・SD-14・SD-45・SD-53・SD-56 SD-1（医ガスボンベ庫）	お考えのとおりです。
111	内外区分	4	70	下段					上記正の場合、参考数量書P70でSD-16がステンレス枠無し 1か所及びステンレス枠有り 5か所の2種類計上されていますが、全て外部建具の為、使い分けは無しとし、SD-16は全てステンレス枠有りと考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
112	枠立上りH300部ステンレス枠	4	70 72	上段 中段					又、参考数量書P70・72でSD-16（外部）及びSD-30（外部）のステンレス枠のH寸法がH215で計上されていますが、建具表-1（A69）の一般共通事項よりH300と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
113	扉表面仕上	4	80 ～ 82						下記建具に扉：焼付塗装が計上されていませんが、建具表-6・7（A74・75）より、全て扉：焼付塗装が必要と考えてよろしいでしょうか。 LSD-39・48・49・52'・58・59・70	お考えのとおりです。
114	ランマ付建具	4	80 81	中段 中段					下記建具の名称欄にランマ付が計上されていませんが、建具表-7（A75）より全てランマ付と考えてよろしいでしょうか。 LSD-43・52・54	お考えのとおりです。

番号	質問項目	表資 番号	00 枚目	上中 下段	-	-	-	-	-	質 問	回 答
115	合成樹脂調合 ペイント塗	4	92	上段						合成樹脂調合ペイント塗 S OP木部 4.6m <sup>2</sup> が計上さ れていますが、図面中に記載 がありません。施工範囲をご 教示願います。	シールド工事部の木製額縁で す。
116	合成樹脂調合 ペイント塗	4	92	中段						天井合成樹脂調合ペイント塗 EP ケイカル板面 4.4m <sup>2</sup> が計上されていますが、図 面中に記載がありません。施 工範囲をご教示願います。	図面が正です。天井合成樹脂 調合ペイント塗 EP ケイカ ル板面 4.4m <sup>2</sup> は、ありま せん。
117	ビニル床シー ト	4	94	中段						立上り ビニル床シート張 H 100 T2 熱溶接工法 マ ーブル 18.9m <sup>2</sup> が計上され ていますが、図面中に記載が ありません。施工範囲をご教 示願います。	B1階 アンギオ操作室です。
118	ビニル床シー ト	4	94	中段						立上り ビニル床シート張 H 100 T2 熱溶接工法 エ ポキシ接着剤 マーブル 7 8.1m <sup>2</sup> が計上されていま すが、図面中に記載がありま せん。施工範囲をご教示願 います。	WC前の洗面コーナーです。
119	ケイ酸カルシ ウム板	4	96	下段						天井 ケイ酸カルシウム板T 6 4.4m <sup>2</sup> が計上されてい ますが、図面中に記載があり ません。施工範囲をご教示願 います。	図面が正です。天井 ケイ酸カ ルシウム板T6 4.4m <sup>2</sup> は、ありません。
120	ケイ酸カルシ ウム板	4	96	上段						壁 ケイ酸カルシウム板T6 +6 26.4m <sup>2</sup> が計上され ていますが、図面中に記載が ありません。施工範囲をご教 示願います。	図面が正です。壁 ケイ酸カル シウム板T6+6 26.4m <sup>2</sup> は、ありません。
121	カウンター本 棚	4	101	下段						1Fホール カウンター下部 本棚のW寸法が部分詳細図ー 6(A82)ではW3185、 参考数量内訳書ではW160 0です。部分詳細図ー6が正 しいと考えてよろしいでしょ うか。	部分詳細図ー6が正です。
122	通気管・通水管	4	106	下段						地下ピット通気管・通水管の か所数がピット詳細図(A3 0)と参考数量内訳書で下記 の様に食い違いが見られま す。ピット詳細図(A30) が正しいと考えてよろしいで しょうか。 ピット詳細図(A30)／参 考数量内訳書	参考数量内訳書が正です。

番号	質問項目	表 番号	00 枚目	上 中 下 段	-	-	-	-	-	質 問	回 答
										通気管L450-6か所/6 か所 通気管L600-無し/82 か所 通気管L800-129か所 /33か所 通気管L1200-62か所 /85か所 通水管L450-6か所/6 か所 通水管L600-無し/22 か所 通水管L800-55か所/ 19か所 通水管L1200-55か所 /75か所	
123	背もたれ	4	106	中						HWC 背もたれ(2か所)が 計上されていますが、図面中 に記載がありません。設置場 所をご教示願います。	図面が正です。HWC 背もた れ(2か所)は、ありません。

### ⑤ 落札者決定基準に関する質問回答

<なし>

### ⑥ 基本協定書(案)に関する質問回答

番号	質問項目	頁	条	項	号	別紙	-	-	-	質 問	回 答
124	押印者	4								基本協定書の乙側の押印者 は、代表企業と構成員であり、 協力企業は含まれないとの理 解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

### ⑦ 事業契約書(案)に関する質問回答

番号	質問項目	頁	章	節	条	項	号	別紙	-	質 問	回 答
125	基本設計図書	7	1		1	1	10			「基本設計図書」は資料2の 「基本計画書」を指すとの理 解でよろしいでしょうか。	「基本設計図書」とは、【資料 2 基本設計説明書】を指しま す。
126	本件土地	9	1		1	1	33			「要求水準書に記載された● に該当する土地」の「●」の 内容をご教示ください。	「…要求水準書に記載された ●に該当する土地をいう。」を 「…要求水準書(【資料1 実 施設計図書】の現場説明付記 事項)に記載された「工事範 囲」に該当する土地をいう。」 に修正します。
127	契約保証金	10	2		9	1				契約保証金又はこれに代わる 保証を付す金額として、施設	原案のとおりとします。

番号	質問項目	頁	章	節	条	項	号	別紙	質 問	回 答
									整備費相当の100分の30 となっていますが、他の事業 では施設整備費相当の10/ 100とする事例が多いと存 じます。ついては、本事業に おいても契約保証金又はこれ に代わる保証を付す金額を1 0/100としていただけない でしょうか。	
128	設計	12	3		11	10			VE提案が実施不可能となっ た事由が、事業者の責めに帰 すことのできない事由の場合 におけるサービス購入費の増 額や引渡日の変更について、 一義的に事業者のリスク負担 とするのではなく、協議事項 としていただけないでしょ うか。	原案のとおりとします。なお、 番号21への回答も参照して ください。
129	土壌汚染、地中 障害物等	13	3		13	6			「本件土地に関する調査資料 から確認されない本件土地の 瑕疵、埋蔵文化財の発見等」 とございますが、土壌汚染や 地中障害物もこれに含まれる との理解でよろしいでしょ うか。	ご理解のとおりです。
130	近隣対策	16	4	2	23	1			工事に先立ち説明を要する 「近隣住民」とは、どの範囲 までの住民を想定されている のでしょうか。	本施設の内容とともに、施工 方法等に基づき、事業者の判 断によるものとします。
131	大学が別途発 注する備品等	16	4	2	24	2			「大学が別途発注する備品等 の搬入作業」とございますが、 具体的な備品リストや搬入時 期についてご教示ください。	大学が別途に発注する備品等 の搬入作業（移転業務）とは、 すべての搬入作業のうち、重 量物、大容積物、設備との接 続及び調整が必要なものを中 心に想定しています。なお、 当該搬入作業を実施する時期 等については、番号1への回 答を参照してください。
132	完成確認通知 書	18	4	4	31	1			貴大学が完工確認したこと の完工確認書等は引渡予定日 までにご発行頂けるとの理解 で宜しいでしょうか。 金融機関は、施設の完工確認 が実施された完工確認書を確 認した上でプロジェクトファ イナンスにより融資実行しま すので、おおよその発行時期 （例：施設引渡しの●日前な ど）をご教示頂けますでしょ うか。	事業契約書（案）第31条第 1項に記載されている完成確 認等が完了した場合には、速 やかに完成確認書等を交付し ます。ただし、引渡予定日ま でに、本施設の完成や維持管 理業務の実施体制の確認又は 事業者による完成図書の提出 がない場合には、引渡予定日 までに完成確認書等を交付す ることができないことに留意 してください。

番号	質問項目	頁	章	節	条	項	号	別紙	質 問	回 答
133	大学による本施設の完成確認通知	18	4	4	31	3			「大学は、第1項の完成確認書の交付により本施設の設計及び建設の全部又は一部について責任を負担するものではない。」とございますが、完成確認書の交付は要求水準を満たしていることを前提として交付されるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
134	工期変更等の場合の費用負担	19	4	5	34	1			貴大学の責めに帰すべき事由による工期変更に伴う増加又は追加費用の中には金融機関に支払うブレイクファンディングコストや弁護士費用等の金融費用も含まれるとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。ただし、大学が負担する金融費用については、合理的な範囲に限られることに留意してください。
135	建設工事中の第三者賠償	19	4	5	35	2			実施方針添付資料2 No. 18では、工事の施工に伴い通常避けることのできない理由により生じた第三者への賠償は、大学のリスク負担となっています。実施方針のリスク分担と同様に、本事業契約でも当該リスクは大学負担としていただけないでしょうか。	事業契約書(案)第35条第2項については、下記のとおり修正します。 記 2 事業者が本施設の建設工事の実施により第三者に損害を及ぼした場合において、工事の施工に伴う騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等の理由により生じた損害については、事業者がその損害を賠償しなければならない。但し、工事の施工に伴い通常避けることのできない騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等の理由により生じた損害については、大学が負担するものとする。
136	引渡し遅延による費用負担	20	4	6	38	1			貴大学の責めに帰すべき事由により施設の引渡しが遅延する場合の増加費用の中には金融機関に支払うブレイクファンディングコストや弁護士費用等の金融費用も含まれるとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。ただし、大学が負担する金融費用については、合理的な範囲に限られることに留意してください。
137	近隣対策	22	5	1	47	1			「合理的に要求される範囲の近隣対策を実施する」とありますが、大学側で想定されている事象についてご教示ください。	本施設の内容とともに、施工方法等に基づき、事業者の判断によるものとします。なお、事業契約書(案)の関連条項、要求水準書P5の「第2章施設整備に関する要求水準」、要求水準書【資料1 実施設計図書】の「現場説明付記事項」についても参照してください。

番号	質問項目	頁	章	節	条	項	号	別紙	質 問	回 答
138	業務報告書	23	5	1	50	4			月報を「作成月の翌月7日まで」、半期報告書を「毎年10月7日及び4月7日まで」、年間報告書を「毎年4月7日まで」とありますが、提出する月、年によっては休日が重なり、作成期間を設けられない場合が考えられます。「原則」もしくは「〇〇営業日」に変更いただけないでしょうか。	休日等が重なったときなどの措置として、それぞれの「日にち」、「月日」の前段に、「原則として」を加筆修正します。なお、本条項と同様の他の条項についても、本趣旨に基づいて加筆修正するものとします。
139	業務報告書提出時期	23	5	1	50	4			報告書の提出期限がタイトなため、「翌月の7営業日まで」に変更していただけないでしょうか。	番号138への回答と同様とします。
140	業務報告書提出時期	23	5	1	50	5			報告書の提出期限がタイトなため、「10月及び4月の7営業日まで」に変更していただけないでしょうか。	番号138への回答と同様とします。
141	業務報告書提出	23	5	1	50	5			半期報告書と年間報告書を同日に提出いたしますが、下半期報告書の内容は年間報告書にも含まれるものであり内容が重複するため、下半期報告書の提出を不要といただけないでしょうか。	原案のとおりとします。ただし、「年間報告書」は、全体を総括した簡潔なものでよいものとし、実務上は、当該「年間報告書」とともに、別途既に提出を受けている「上半期報告書」、「下半期報告書」とを一体のものとして取り扱うこととします。
142	業務報告書提出時期	23	5	1	50	6			報告書の提出期限がタイトなため、「4月の7営業日まで」に変更していただけないでしょうか。	番号138への回答と同様とします。
143	第三者に及びした損害等	23	5	1	53	2			「維持管理業務に伴い通常避けることが出来ない騒音」とありますが、大学側で想定されている事象についてご教示ください。	大学は、本事業の維持管理業務において、第三者に損害を及ぼすような騒音等が発生する事態を想定していません。
144	維持管理期間中の第三者賠償	23	5	1	53	2			維持管理に伴い通常避けることのできない理由により生じた第三者への賠償は、事業者は事前に予期できないものとなります。そのため、このリスクは大学負担としていただけないでしょうか。	原案のとおりとします。なお、番号143への回答も参照してください。
145	本施設の修繕	24	5	1	56	1			大学の都合によらない、事業者が自己の責任と費用において実施する「持管理業務計画書に記載のない模様替え」について、大学側で想定されている事象についてご教示ください。	事業者は、別段の定めがない限り、入札説明書等（主に要求水準書）に示す機能を維持するための修繕・更新を行う必要があります。なお、当該修繕・更新にあたっては、「年間維持管理業務計画書に記載

番号	質問項目	頁	章	節	条	項	号	別紙	-	質 問	回 答
											のない模様替え」を実施する必要が生じることも考えられますが、大学は、当該事態を具体的には想定していません。
146	本施設の損傷	24	5	1	56	3				事業者の責めによる本施設の損傷があった場合、まず国大協総合保険制度により補てんを受け本施設の修繕を行い、その結果として保険料上昇分を事業者が賠償責任として負担するという対応は考えられますでしょうか。	大学は、ご質問にあるような対応を想定していません。事業者は、事業契約書(案)第53条第1項によりその損害(本施設の損傷に係る損害)を賠償することになります。
147	本施設の修繕	24	5	1	56	3				事故もしくは火災等で大学側が大学側の責任と費用で行う修繕について、完成図書に変更が生じた場合は大学側で対応いただけるとの理解でよろしいでしょうか。	事業者の責めによらない事故若しくは火災等による損傷の修繕については、ご理解のとおりです。
148	違約金	32	8	2	76	1	1			本施設の引渡し前における契約解除の違約金として、施設整備費相当の100分の30となっていますが、他の事業では、施設整備費相当の10/100とする事例が多いと存じます。ついては、本事業においても、違約金を10/100としていただけないでしょうか。	原案のとおりとします。
149	違約金	32	8	2	76	1	2			本施設の引渡し後における契約解除の違約金として、維持管理費相当の当該年度総額の100分の20となっていますが、他の事業では、維持管理費相当の当該年度総額の10/100とする事例が多いと存じます。ついては、本事業においても、違約金を10/100としていただけないでしょうか。	原案のとおりとします。
150	定期建物賃貸借契約書	58							12	本契約の借受人を付帯事業受託者としてもよろしいでしょうか。	借受人は、あくまでも事業者としますが、本契約第11条の規定により大学の承認を受けた場合には、構成員又は協力会社等に転貸することができるものとします。
151	貸付期間	58			4				12	「貸付期間は、平成●年●月●日(工事着工日以前)から～」とございますが、「貸付期間は、平成●年●月●日(本	ご理解のとおりです。「貸付期間は、平成●年●月●日(工事着工日以前)から…」を「貸付期間は、平成●年●月●日

番号	質問項目	頁	章	節	条	項	号	別紙	質 問	回 答
									施設の供用開始前)が正との理解でよろしいでしょうか。	(本施設の供用開始の日)」に修正します。
152	定期建物賃貸借契約書	59			6	2		12	「貸付料は毎年改定する」とございますが、貸付料の改定において、改定の基準は何でしょうか。また、改定の前に、付帯事業の採算性等の事業者側の事情を踏まえて大学と協議させていただきませんかでしょうか。	ご質問の前段(貸付料の改定)については、国の使用料算定基準を準用し、大学が定めるものとします。ご質問の後段については、付帯事業の採算性等に十分配慮するとともに、事前に、事業者の意見等を聴取するものとします。
153	定期建物賃貸借契約書の書式	59	-	-	6	2		12	「貸付料は毎年改定する」とありますが、付帯事業における使用料については、収支上大きく影響し、長期安定運営のためにも「合理的な範囲」での改定をお願いします。	番号152への回答を参照してください。
154	貸付料の支払い	60			12	1		12	第三者に転貸する場合、貸付料を転貸した第三者から大学へ直接支払うことは可能でしょうか。	借受人は、あくまでも事業者とすることから、大学への貸付料の支払は、事業者の名義で行ってください。

### ⑧ 実施設計図書に関する質問回答

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質 問	回 答
155	埋戻し及び盛土	特2号	特記仕様書(2)	土工事	特記仕様書(2)の土工事で埋戻し及び盛土はB種とございますが、敷地内の仮置き場所が無い為、A種と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
156	耐火被覆	特2号	特記仕様書(2)	7章鉄骨工事	耐火被覆材吹付の適用箇所が柱・梁型と記載がございますが、該当する範囲が無い為、不要と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
157	木床の材種	特3号 A77	特記仕様書(3) 部分詳細図-1	12章木 工事欄 木上框・ 畳敷き 詳細図	1階M・Wロッカー休養室木床の材種が特記仕様書(3)では米桧、部分詳細図-1では米栂です。特記仕様書(3)が正しいと考えてよろしいでしょうか。	部分詳細図-1が正です。
158	庇 外壁部鼻先 化粧形鋼	A4 A84 細目 I (建・医 薬系)P4 3	外部仕 上表 部分詳 細図-8	外壁欄 庇 詳細 図	庇、外壁部 鼻先 化粧形鋼の断面寸法が部分詳細図-8及び参考数量内訳書 金属工事 P43では 化粧溝形鋼C-300x90x9x13、外部仕上表・凡例表では化粧H鋼です。部分詳細図-8及び参考数量内訳書 金属工事 P	部分詳細図-8及び参考数量内訳書 金属工事が正です。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
					43が正しいと考えてよろしいでしょうか。また、化粧H形鋼が正の場合、メンバーをご教示願います。	
159	メカニカルバルコニー手摺	A4 A85 細目I (建・医 薬系)P4 3	外部仕 上表 部分詳 細図-9	メカニ カルバ ルコニ ー欄 メカニ カルバ ルコニ ー詳細 図	メカニカルバルコニーの手摺の断面寸法が部分詳細図-9及び参考数量内訳書 金属工事 P43では手摺FB-38x12、支柱2FB-38x12@1000、横棧FB-25x8 2段、外部仕上表ではFB+ワイヤーφ6です。部分詳細図-9及び参考数量内訳書 金属工事 P43が正しいと考えてよろしいでしょうか。また、FB+ワイヤーφ6が正の場合、詳細をご教示願います。	部分詳細図-9及び参考数量内訳書 金属工事が正です。
160	屋外階段手摺	A4 A28 細目I (建・医 薬系)P4 3・44	外部仕 上表 外部階 段詳細 図-1	ドライ エリア 屋外階 段欄 階段手 摺詳細 図	屋外階段手摺の仕様が外部階段詳細図-1及び参考数量内訳書 金属工事 P43、44ではスチール FB-38x12 溶融亜鉛メッキ、外部仕上表ではステンレス FB-12x40 HLです。外部階段詳細図-1及び参考数量内訳書 金属工事 P43、44が正しいと考えてよろしいでしょうか。	外部階段詳細図-1及び参考数量内訳書 金属工事が正です。
161	エポキシ接着剤	A4	外部仕 上表・凡 例表	一般共 通事項 欄	内装工事でビニル床シート・ビニル床タイルのエポキシ接着剤の範囲で、地下室の記載がございますが、地下室とは地下1階・地下2階の全ての部屋と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
162	庇3	A4 A25	外部仕 上表 内部階 段2詳細 図-2	Y4通り	庇3の仕様が外部仕上表及び参考数量内訳書 金属工事 P45ではアルミ製(既製品)、内部階段2詳細図-2ではRC庇です。外部仕上表及び参考数量内訳書 金属工事 P45が正しいと考えてよろしいでしょうか。	外部仕上表及び参考数量内訳書 金属工事が正です。
163	ブラインド	A5~8 細目V (附帯設 備)P238	内部仕 上表(1) ~(4)	各室ブ ライン ドボッ クス欄	各室にブラインドボックスの記載がございますが、ブラインド本体は参考数量内訳書 附帯設備 P238で計上されている為、本工事と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
164	ブラインド	A5~8	内部仕上表(1)~(4)	各室 ブラインドボックス欄	ブラインドの仕様及びメーカー名・品番等をご教示願います。	立川ブラインド パーフェクトシルキー同等品です。
165	医療機器吊架台	A5 A81	内部仕上表(1)部分詳細図-5	B1階アンギオ備考欄 B1階アンギオ天井架台図	B1階アンギオ備考欄に医療機器吊架台の記載がございますが、部分詳細図-5 B1階アンギオ天井架台図では点線の図示となっている為、架台本体は別途工事とし、アンカーボルトのみ本工事と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
166	地下1階MRI床ビニル床シートの仕様	A5 A101	内部仕上表(1)シールド工事詳細図-3	床欄 D-3断面詳細図	地下1階MRIの床ビニル床シートの仕様が内部仕上表(1)では耐薬品性、シールド工事詳細図-3では帯電防止です。シールド工事詳細図-3が正しいと考えてよろしいでしょうか。	仕上表(1)が正です。
167	地下2階通信機械室・ヘリウム回収室の壁仕上	A5 A31 A34	内部仕上表(1) B2階平面詳細図-1 B2階平面詳細図-4	B2階 X2通り X6通り	地下2階通信機械室・ヘリウム回収室の壁仕上が内部仕上表(1)ではコンクリート打放しB種、B2階平面詳細図-1・B2階平面詳細図-4ではガラスウールです。内部仕上表(1)が正しいと考えてよろしいでしょうか。	内部仕上表(1)が正です。
168	複合フローリング	A6	内部仕上表(2)	床欄	1階 M・Wロッカー休養室の床仕上欄に複合フローリング t15と記載がございますが、材種・表面仕上をご教示願います。	ナラ材(ウレタン塗装品)です。
169	ロールスクリーン	A6	内部仕上表(2)	1階教務掛備考欄	1階教務掛備考欄にロールスクリーンの記載がございますが、メーカー名・品番等をご教示願います。	立川ブラインド ラルク同等品です。
170	流し台	A6	内部仕上表(2)	1F給湯室備考欄	1F給湯室に流し台L1600・吊戸棚の記載がございますが、詳細をご教示願います。	クリナップ KKB-150M、WKKB-150同等品です。
171	WC床仕上	A6~8 A43・50・54・58	内部仕上表(2)~(4) 2階平面詳細図-1 3・4・5階平面詳細図-4	床欄 Y2・X5通り Y3通り・X8-9間	2~5階 M・WWCの床仕上が内部仕上表(2)~(4)ではFVS(1)・HTの使い分け、2階平面詳細図-1・3~5階平面詳細図-4ではFVS(1)・VS(1)の使い分けです。2階平面詳細図-1・3~5階平面詳細図-4が正しいと考えてよろしいでしょうか。	2階平面詳細図-1・3~5階平面詳細図-4が正です。
172	2階リフレッ	A6	内部仕上表(2)	床欄	2階リフレッシュの床仕上が	内部仕上表(2)が正です。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
	シュ床仕上	A45	上表(2) 2階平面 詳細図- 3	Y3・X9通 り	内部仕上表(2)ではTCP (2)、2階平面詳細図-3で はFVS-(1)です。内部 仕上表(2)が正しいと考 えてよろしいでしょうか。	
173	1階死体保管 庫の壁:ケイカ ル板	A6 A79	内部仕 上表(2) 部分詳 細図-3	壁・柱型 欄 W5(片面 ケイカ ル板張 り)	1階死体保管庫の壁:ケイカ ル板の厚みが内部仕上表(2) ではt6、部分詳細図-3で はt8(凡例W5)です。部 分詳細図-3が正しいと考 えてよろしいでしょうか。	部分詳細図-3が正です。
174	アスファルト 防水立上り	A6 A20	内部仕 上表(2) 断面詳 細図-4	巾木欄 Y1~2通 り	1階死体保管庫・荷受場・ゴ ミ置場 アスファルト防水立 上りの仕様が内部仕上表(2) では露出アスファルト防水、 断面詳細図-4ではアスファ ルト防水(押えコンクリート 有り)です。断面詳細図-4 が正しいと考えてよろしいで しょうか。	断面詳細図-4が正です。
175	流し台	A7 A103	内部仕 上表(3) 医療機 器・流し 台・実験 台等配 置図-2	試料調 整室及 び実験 室備考 欄 3Fリス ト	3F プロテミオクス研究セ ンター 試料調整室及び実験 室 流し台のW寸法が医療機 器・流し台・実験台等配置図 -2ではW1200、内部仕 上表(3)ではL1600で す。医療機器・流し台・実験 台等配置図-2が正しいと考 えてよろしいでしょうか。	医療機器・流し台・実験台等 配置図-2が正です。
176	パーティショ ン	A7 A68	内部仕 上表(3) 建具配 置図-2	一般実 験室備 考欄 4階建具 配置図X 7通り	内部仕上表(3)4階ゾーン D一般実験室の備考欄にパー ティションの記載がございま すが、建具配置図-2に記載 がありません。不要と考 えてよろしいでしょうか。必要の 場合、パーティションの寸 法・仕様・か所数をご教示願 います。	お考えのとおり、ご質問のパ ーティションは不要です。
177	外壁アルミス パンドレル頂 部見切縁	A14	立面図- 1	北面外 壁 X8~9通 り	1階北面外壁X8~9通りに 外壁アルミスパンドレルの記 載がございしますが、外壁アル ミスパンドレル頂部~屋根5 笠木(塗膜防水)取合に見切 縁等は必要でしょうか。必要 な場合、仕様・形状をご教示 願います。	必要です。仕様・形状につい ては、別図1を参照してくだ さい。
178	屋根4、5手摺	A14 A20 A82 細目I	立面図- 1 断面詳 細図-4	北立面 図 2F Y4-5 屋根6詳	屋根4、5の手摺のH寸法が 立面図-1、断面詳細図-4 及び参考数量内訳書 金属工 事 P43ではH1150、部	立面図-1、断面詳細図-4 及び参考数量内訳書 金属工 事が正です。ただし、屋根6 のみH650です。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
		(建・医薬系)P43	部分詳細図-6	細図	分詳細図-6ではH650です。立面図-1、断面詳細図-4及び参考数量内記書 金属工事 P43が正しいと考えてよろしいでしょうか。	
179	医ガスボンベ庫屋根 鉄部塗装	A14 A120	立面図-1 医ガスボンベ庫・自転車置場詳細図	西面外壁 X2~3通り	1F医ガスボンベ庫屋根 鉄部塗装の有無が、立面図-1では有り(DP塗)、医ガスボンベ庫・自転車置場詳細図では無し(溶融亜鉛メッキ)です。医ガスボンベ庫・自転車置場詳細図が正しいと考えてよろしいでしょうか。	医ガスボンベ庫・自転車置場詳細図が正です。
180	屋外階段中央壁	A14 A29	立面図-1 外部階段詳細図-2	Y3~4通り間 西面1F~5F	屋外階段中央壁の仕上が立面図-1ではフッ素樹脂撥水材吹付(凡例③)、外部階段詳細図-2ではDP塗です。立面図-1が正しいと考えてよろしいでしょうか。	立面図-1が正です。
181	DS-OA内壁	A15 A85	立面図-2 部分詳細図-9	南北面	DS-OA内壁の仕上が立面図-2ではフッ素樹脂撥水材吹付(凡例③)、部分詳細図-9では打放し仕上げです。部分詳細図-9が正しいと考えてよろしいでしょうか。	部分詳細図-9が正です。
182	外壁アルミカットパネル下地	A17	断面詳細図-1	X10通り 2FL-800	断面詳細図-1でX10通り2FL-800部分に外壁アルミカットパネル下地 C-100x50x20x2.3の記載がございますが、C-100x50x20x2.3の取付ピッチをご教示願います。	ピッチは@900です。
183	目隠しボード	A17 A90	断面詳細図-1 サッシ詳細図-1	東立面図2FL部 ACWタテ 断面詳細図	ACW-01の目隠しボード：珪酸カルシウム板の厚みが断面詳細図-1ではt6、サッシ詳細図-1ではt8です。断面詳細図-1が正しいと考えてよろしいでしょうか。	断面詳細図-1が正です。
184	二重壁内防水	A18	断面詳細図-2	C断面詳細図 D断面詳細図	二重壁内床防水の仕様が断面詳細図-2 C断面詳細図では地下1階・地下2階アスファルト防水、断面詳細図-2 D断面詳細図では地下1階アスファルト防水、地下2階塗膜防水です。断面詳細図-2 C断面詳細図が正しいと考えてよろしいでしょうか。	P2実験室1、2に関しては、防水仕様ではないため、二重壁内部側溝部のみ塗膜防水です。
185	床増打部補強	A21	断面詳細図	ピット	床天端増打部の補強筋として	お考えのとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
	筋		細図-5	・ドライ エリア 床部	D10@200シングルクロスが必要と考えてよろしいでしょうか。	
186	ドライエリア排水溝	A21	断面詳細図-5	B2FL	断面詳細図-5 ドライエリアに排水溝(W150)の記載がございますが、仕上は防水モルタル金罫と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
187	庇3	A25	内部階段2詳細図-2	Y4通り	庇がRC庇の場合、庇3の表面仕上は天端：塗膜防水、見付・軒天井：フッ素樹脂撥水材吹付と考えてよろしいでしょうか。	ご質問の庇は、アルミ製（既製品）です。番号162への回答と同様趣旨です。
188	屋外階段手摺	A28	外部階段詳細図-1	A部詳細図 B部詳細図	屋外階段手摺 支柱ブラケットの寸法が外部階段詳細図-1 A部詳細図ではPL-100x19、外部階段詳細図-1 B部詳細図ではFB-140x19です。外部階段詳細図-1 A部詳細図が正しいと考えてよろしいでしょうか。	外部階段詳細図-1 A部詳細図が正です。
189	コンクリート打放型枠種別	A30	ピット詳細図	ピット 内人 通口・通 水管・通 気管詳細	ピット詳細図人通口・通水管・通気管詳細でコンクリート打放しのままと記載がございますが、型枠種別はC種と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
190	間仕切内ガラスウール充填	A31~58	各階平面詳細図	備考	各階平面詳細図でW〇〇+G：Gはガラスウールt50(32K)充填とする。と記載がございますが、端部四周にはシーリング処理が必要と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
191	建具寸法	A31~58 A70 A71 A72	各階平面詳細図 建具表-2 建具表-3 建具表-4	寸法欄 平面詳細図	下記建具の寸法が建具表寸法欄と平面詳細図とで一致しません。建具表寸法欄が正しいと考えてよろしいでしょうか。 建具表寸法欄/平面詳細図 AW-01W5120/W5150 AG-02W2350/W2200 SD-22W1200/W1100 SD-12(内部)W1200/W600	AW-01、AG-02、SD-22は建具表寸法欄が正です。SD-12(内部)は平面詳細図が正です。
192	ALC間仕切	A32	B2階平面詳細図-2	X3・Y4通り	発電機室・給気チャンバー取合に間仕切凡例W9(ALC間仕切)の記載がございます	A-19図を参照してください。(階高5500-スラブ厚150-床高200-RC腰

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
					が、階高が5.5mある為中間繋ぎが必要と思われます。中間繋ぎ受け鉄骨のメンバーをご教示願います。	壁150=5000) ALC間仕切りパネルt=100、L5000、支点間距離4500です。(上部取付は梁より支持してください。)
193	地下1階保管庫床ピットの仕上	A37	B1階平面詳細図-3	X8-Y1通り	地下1階保管庫にピットFL-500の記載がございますが、仕上をご教示願います。	合成樹脂塗床Bです。
194	建具寸法	A38 A74	B1階平面詳細図-4 建具表-6	LSD-35寸法欄 B1階平面詳細図-4 X9-Y3通り	B1階飼育室1に取付くLSD-35のW寸法が建具表-6ではW1800、B1階平面詳細図-4ではW1600です。建具表-6が正しいと考えてよろしいでしょうか。	B1階平面詳細図-4が正です。
195	地下1階飼育室溜め柵の仕上	A38 A77	B1階平面詳細図-4 部分詳細図-1	飼育室部分排水溝詳細図	地下1階飼育室1~4に溜め柵300×300×H200の記載がございますが、仕上は側溝(部分詳細図-1排水溝詳細図より)と同様に防水モルタルと考えてよろしいでしょうか。	A77図の溜め柵詳細図を参照してください。
196	建具寸法	A40 A70	1階平面詳細図-2 建具表-2	建具形状及び記号欄	AW-12のW寸法が姿図の割付寸法合計ではW7884.8、合計寸法欄ではW7955です。1階平面詳細図-2でW7955と記載がある為、W寸法はW7955と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
197	沓拭マット	A42	1階平面詳細図-4	X10・Y3~4通り	風除室1前に沓拭マット(ステンレス)の記載がございますが、メーカー名・品番等をご教示願います。	杉田エース(株)SUSグレーチングマット同等品です。
198	沓拭マット	A42	1階平面詳細図-4	X10・Y3~4通り	沓拭マット下 水抜パイプの仕様及び径をご教示願います。	VP65です。
199	2階便所前廊下2壁仕上	A43 A62	2階平面詳細図-1 展開図-3	Y2通り X4-5間	2階便所前廊下2(Y2通りX4-5間)の壁仕上が2階平面詳細図-1ではCL(3)、展開図-3ではEPです。展開図-3が正しいと考えてよろしいでしょうか。また、正しい場合はA39にある1階便所前廊下も同仕上と考えてよろしいでしょうか。	2階平面詳細図-1が正です。
200	流し前の壁仕上	A45	2階平面詳細図-3	Y2通り	2階平面詳細図-3で調剤室A領域2-1に流し台の記載がございますが、流し前の壁仕上をご教示願います。	EPです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
201	W C 壁小口仕上	A50・54・58	3・4・5階平面詳細図-4	X8・Y3通り	3～5階 M・WVCに壁小口の図示がございますが、小口枠は必要ですか。必要な場合、仕様をご教示願います。	不要です。
202	ハト小屋壁	A59 A83 A86	R階平面図詳細図部分詳細図-7部分詳細図-10	RFL	R階ハト小屋壁仕上が部分詳細図-7では塗膜防水、部分詳細図-10では複層塗材Eです。R階ハト小屋壁仕上の使い分け範囲は、外周廻りハト小屋壁仕上を塗膜防水、Y3-X4～6通り間、X5-Y1～2通り間のハト小屋壁仕上を複層塗材Eと考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
203	防火性能	A68 A71	建具配置図-2 建具表-3	建具配置図-2 X2通り AD-16ガラス欄	AD-16の防火性能の記載がございませんが、建具配置図-2及び建具表-3のガラス仕様より防火設備と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
204	ガラス	A70	建具表-2	AW-20ガラス欄 AW-32ガラス欄	AW-20・32のガラス欄にLow-E5+A6+P5、北側はP5+A6+P5と記載がございますが、北側にAW-20・32がありません。ガラス：P5+A6+P5は不要と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
205	防鳥網	A70	建具表-2	AW-07建具金物欄	AW-07の建具金物欄にSUS防鳥網の記載がございますが、姿図よりガラリ無しの為、不要と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
206	ガラリ寸法	A70	建具表-2	AW-31・32ガラリ欄 建具形状及び記号欄	AW-31・32の欄間部ガラリのH寸法が建具表-2ガラリ欄ではH385、建具表-2建具形状及び記号欄ではH235です。建具表-2ガラリ欄が正しいと考えてよろしいでしょうか。	建具表-2ガラリ欄が正です。
207	ガラス	A70 A90	建具表-2 サッシ詳細図-1	AW-01ガラス欄 アウトリーチエリア部サッシ詳細図	AW-01のガラス仕様が建具表-2では強化ガラスt12、サッシ詳細図-1ではフロートガラスt12です。建具表-2が正しいと考えてよろしいでしょうか。	建具表-2が正です。
208	額縁仕様	A70 A90	建具表-2 サッシ	AW-01建具金物 アウト	AW-01の額縁仕様が建具表-2ではアルミ、サッシ詳細図-1ではスチールSO	建具表-2が正です。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
			詳細図-1	リーチエリア部サッシ詳細図	Pです。建具表-2が正しいと考えてよろしいでしょうか。	
209	ガラリ寸法	A71	建具表-3	AD-11ガラリ欄 建具形状及び記号欄	AD-11の欄間部ガラリのH寸法が建具表-3ガラリ欄ではH385、建具表-3建具形状及び記号欄ではH235です。建具表-3ガラリ欄が正しいと考えてよろしいでしょうか。	建具表-3建具形状及び記号欄が正です。
210	建具寸法	A71 A73 A74 A75	建具表-3 建具表-5 建具表-6 建具表-7	寸法欄 建具形状及び記号欄	下記建具の寸法が建具表寸法欄と建具形状及び記号欄とで一致しません。建具表寸法欄が正しいと考えてよろしいでしょうか。 建具表寸法欄／建具形状及び記号欄 AD-11H2785／H2700 SD-55W1685／W1680 LSD-20H2485／H2500 LSD-43H2685／H2700 LSD-52H2485／H2500 LSD-54H2485／H2500 LSD-23W1600／W1800	SD-55は建具表寸法欄が正です。 AD-11、LSD-20、LSD-43、LSD-52、LSD-54、LSD-23は建具形状及び記号欄が正です。
211	扉表面仕上	A72	建具表-4	SD-12建具仕上欄 SD-36建具仕上欄	SD-12(内部)・SD-36の扉仕上がDPと記載がございますが、内部建具の為、SOPと考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
212	ガラス	A73	建具表-5	SW-01ガラス欄	SW-01のガラス仕様が不明です。フロートガラスt5と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
213	ガラス	A73~75 A92	建具表-5~7 LSD・SD 詳細図	ガラス欄 LSD引戸姿図 SD・LSD開戸姿図	下記建具の明採窓ガラス仕様がF(型板ガラス)t5及びP(フロートガラス)t5と記載がございますが、LSD・SD詳細図(参考図)より全てスリガラスと考えてよろしいでしょうか。 SD-44、LSD-2・3・	建具表ガラス欄が正です。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
					12・20・21・26・39～43・45 LSD-47～52・52'・56・56'・61・63・70	
214	額窓の有無	A74	建具表-6	LSD-36 ガラス欄 建具形状及び記号欄	LSD-36が建具表-6ガラス欄でガラスの記載がございますが、建具形状及び記号欄では額窓有り及び額窓無し の2種類があり、額窓の有無が不明です。額窓無しと考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
215	建具寸法	A75	建具表-7	LSD-64 寸法欄 建具形状及び記号欄	LSD-64のW寸法が建具表-7建具形状及び記号欄ではW700、建具表-7寸法欄ではW800です。建具表-7建具形状及び記号欄が正しいと考えてよろしいでしょうか。	建具表-7寸法欄が正です。
216	OAフロア下床仕上	A77	部分詳細図-1	OAフロア詳細図	OAフロア下床に防塵塗装は必要ですか。必要な場合、仕様をご教示願います。	ご質問の防塵塗装は不要です。
217	床畳下地の仕様	A77 A81	部分詳細図-1 部分詳細図-5	木上框・畳敷き 詳細図 押入詳細図	1階M・Wロッカー休養室床畳下地が部分詳細図-1では木下地、部分詳細図-5ではポリスチレンフォームt25下地です。部分詳細図-1が正しいと考えてよろしいでしょうか。	A77図が正です。
218	地下1階MRI室配線ピット	A77 A101	部分詳細図-1 シールド工事 詳細図-3	配線ピット(MRI・CT室・アンギオ)	配線ピット詳細図にMRI・CT室・アンギオの記載がございますが、シールド工事詳細図-3ではMRIに配線ピットの記載はありません。MRIに配線ピットは不要と考えてよろしいでしょうか。また、MRIに配線ピットが必要な場合、施工範囲をご教示願います。	お考えのとおりです。
219	配線ピット蓋の表面仕上	A77	部分詳細図-1	配線ピット(電気室)	配線ピット蓋の仕様がCHPL-t4.5と記載がございますが、表面仕上をご教示願います。	熔融亜鉛メッキです。
220	天井内ダクト補強	A81	部分詳細図-5	軽鉄天井下地開口補強詳細	天井内設備ダクト部分に補強金物の記載がございますが、W寸法及び施工範囲をご教示願います。	設備図を参考の上、必要な箇所 に設置してください。
221	カウンター下部本棚	A82	部分詳細図-6	1階ホールカウンター	1階ホールカウンター下部本棚棚板の仕様が1階ホールカウンター下部本棚詳細	1階ホールカウンター下部本棚詳細図(断面図)が正です。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
				下部 本棚 詳細図	図（断面図）ではメラミン化粧板、1階ホール カウンター下部本棚詳細図（立面図）ではポリ合板です。1階ホール カウンター下部本棚詳細図（断面図）が正しいと考えてよろしいでしょうか。	
222	屋根 2 下地金物	A83	部分詳細図-7	RFL	屋根 2 アルミパネルの下地金物 L-50 x 50 x 6 の取付ピッチが、部分詳細図-7 左下図及び参考数量内訳書 金属工事 P 41、42 では取付ピッチ 900、部分詳細図-7 右下図では取付ピッチ 450 です。部分詳細図-7 左下図及び参考数量内訳書 金属工事 P 41、42 が正しいと考えてよろしいでしょうか。	部分詳細図-7 左下図及び参考数量内訳書 金属工事が正です。
223	庇 外壁部鼻先化粧形鋼	A84	部分詳細図-8	継ぎ目詳細図	目地部にシーリング (t 10) の記載がございますが、シーリング (t 10) の目地ピッチをご教示願います。	A-17 図を参照してください。@ 3500 内外です。
224	自在ドレイン	A85	部分詳細図-9	ゴミ置場詳細図	ゴミ置場屋根に自在ドレインの記載がございますが、径をご教示願います。	φ 65 です。
225	ゴミ置場屋根	A85	部分詳細図-9	Y0~1 通り	ゴミ置場屋根 折板葺用タイトフレーム受鉄骨のメンバーが、部分詳細図-9 ゴミ置場詳細図左図では C-60 x 30 x 10 x 1.6、部分詳細図-9 ゴミ置場詳細図 A 部詳細では C-60 x 30 x 10 x 2.3 です。部分詳細図-9 ゴミ置場詳細図 A 部詳細が正しいと考えてよろしいでしょうか。	部分詳細図-9 ゴミ置場詳細図 A 部詳細が正です。
226	ライニング前補強板の仕様	A87 A88	部分詳細図-11 部分詳細図-12	HB 詳細図	部分詳細図-12 でライニング前壁補強板の仕様に SUS t=1.5 と記載がございますが、身障者用手摺壁下地補強と同様に垂鉛鉄板 t 1.6 と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
227	洗面カウンター	A88	部分詳細目 I 細目 (建・医薬系) P102	洗面カウンター A・B 詳細図	部分詳細図-12 で洗面カウンター A、B の記載がございますが、カウンターの仕様は参考数量内訳書よりメラミンポストフォームと考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
228	ステンレス床	A101	シールド	D-3 断面	シールド工事詳細図-3 断	お考えのとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
	プレート	細目 I (建・医 薬系)P1 08	ド工事 詳細図- 3	詳細図	面詳細図にステンレス床プレ ート(メーカー支給)の記載 がございますが、寸法及びか 所数は参考数量内訳書 ユニ ット及びその他工事 P10 8よりW200×D600 4か所と考えてよろしいで しょうか。	
229	手術台	A102 A105	医療機 器・流し 台・実験 台等配 置図-1 医療機 器リス ト-1	B2Fリス ト 手術台 参考図	B2F P2実験室1・2・O P室に手術台の記載ござい ますが、医療機器リスト-1 で手術台が抹消されている 為、手術台は別途工事と考 えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
230	ステンレス流 し台	A102 A108 細目 V (附帯設 備)P241	医療機 器・流し 台・実験 台等配 置図-1 流し台・ 実験台 詳細図- 2	B1Fリス ト ステン レス流 し台詳 細図	B1F中央材料室 ステンレ ス流し台(区分番号8)のW 寸法が医療機器・流し台・実 験台等配置図-1ではL20 00、流し台・実験台詳細図 -2及び参考数量内訳書 3. 実験流し台 P241ではL 3000です。流し台・実験 台詳細図-2及び参考数量内 訳書 3. 実験流し台 P24 1が正しいと考えてよろしい でしょうか。	流し台・実験台詳細図-2及 び参考数量内訳書 3. 実験 流し台が正です。
231	自転車置場床	A120	自転 車置 場詳 細図	B-B断面 図	自転車置場の床は土間コンク リート(強度Fc18・S1 5)と考えてよろしいでし ょうか。	お考えのとおりです。
232	大梁ネジ鉄筋 適用範囲	S7 S41・S42	ネジ 筋定 着金 物標 準配 筋図 Y2通 り架 構配 筋図1・2	2FL~RFL	2階~R階まで大梁端部のネ ジ鉄筋の長さは定着金物から 継手位置(圧接)迄と考 えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
233	柱符号の相違	S12~20 S29	各階 伏 図 軸組図8	X2・Y2通 り X2・Y3通 り	柱符号が軸組図8(X2通り 軸組図)ではC2、各階伏 図ではC2Aです。各階伏 図が正しいと考えてよろしい でしょうか。	各階伏図が正です。
234	小梁符号Bの リスト	S15 S36	B1階 柱 壁1階 梁 床伏 図 小梁、 床 版、 壁リ	X7~X9 間・Y0~ Y 1間 X5~X6 間・Y4~ Y	小梁Bのリストをご教示願 います。	B0です。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
			スト	5間		
235	1階梁の天端レベル	S15 S23~26 S29~33	B1階柱壁1階梁床伏図軸組図	1F梁天端	1階梁天端レベルがB1柱壁1階梁床伏図と軸組図で相違していますが、軸組図を正と考えてよろしいでしょうか。	軸組図が正です。
236	PC小梁符号PB4Bのリスト	S16 S46	1階柱壁2階梁床伏図PC大梁リスト1	X6~X7間・Y2~Y3間	PB4Bのリストをご教示願います。	部材寸法及び配筋はPB4と同じです。
237	PC小梁配置	S16 S45	1階柱壁2階梁床伏図PC大梁KEYPLAN	X4~X5間・Y2~Y3間	1階柱壁2階梁床伏図ではPC小梁の記載がございますが、PC大梁KEYPLAN図では記載がありません。1階柱壁2階梁床伏図が正しいと考えてよろしいでしょうか。また、PC大梁KEYPLAN図が正しい場合、RC小梁の符号をご教示願います。	1階柱壁2階梁床伏図が正です。
238	構造スリット範囲	S23 S26	軸組図2 軸組図5	Y1通り 軸組図 Y4通り 軸組図	軸組図2のY1通りに構造スリットが必要と思われまます。納まりを軸組図5のY4通りに倣うと考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
239	梁増打	S29	軸組図8	1F、Y0~Y1通りなど	200mmを超える梁増打の配筋は下記としてよろしいでしょうか。 通し筋-D16@300 スターラップ筋-梁と同径同ピッチ 腹筋-D10@300	お考えのとおりです。
240	屋上水勾配	S29 A19	軸組図8 断面詳細図-3	屋上	屋上水勾配の梁天端レベルは軸組図8では梁天端レベルFL±0（勾配増打有り）、断面詳細図-3では梁天端レベルFL+0~180（勾配増打無し）です。軸組図8が正しいと考えてよろしいでしょうか。	軸組図8が正です。
241	耐圧盤鉄筋	S36	小梁、床版、壁リスト	床版断面リスト	耐圧盤FS1の版厚が1000mmの為、幅止め筋D10@1000が必要と考えてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
242	壁筋定着要領	S37	配筋詳細図1	ドライエリア、地下外壁配筋図	壁符号BW65A, BW65Bの外側縦筋の定着は礎盤天端までとしてよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
243	工事用地西側の既設マンホール	S52	SMW・乗入構台平面図(参考図)	左下	工事用地西側の既存マンホールについて、「SMW施工時はマンホール底まで窄孔掘削を行い、マンホールを現しとし、掘削底からSMWの施工を行うこと。」と記載されていますが、現地でマンホールが確認できません。マンホール及びマンホールに接続する配管等の資料をいただけないでしょうか。	A-126図に記載の場所に既存マンホールがあります。マンホールに接続する配管等は、E-181図を参照してください。
244	医療用アース	特記E50	特記、接地線系統図(1)		医療用アースが見当たりませんが「今回の建屋用途が病院ではないので不要」、という解釈でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
245	高圧引込	E65 E175	幹線・動力設備地下1階配線図		既存棟から受け入れる高圧引き込みルートですが、Y0通り側(新設カルバート側)とY4-5間側と2つございます。どちらが正でしょうか。	Y4-5通り側が正です。
246	火災報知設備	E153	自動火災報知設備凡例・注記		火災報知設備において、外部への移報やりとりが見受けられませんが不要と考えてよろしいでしょうか。	別図2の通り追加します。
247	盛替工事	E176	構内配電線路図(2)		既存棟内配線及び既存棟間ケーブルの盛替工事が多々ございますが、各々の手順、タイミング等、工程の基本的な方針をご教示願います。	手順については、南部特高変電所フィーダー盤(A-13、B-13)設置後、新設高圧ケーブル敷設を行い、各建物を無停電切替にて、ループ配線の盛替を行います。タイミング、工程等は大学の監視職員との協議を行うものとしします。
248	既存受変電室改修	E177 E188 E189	受変電設備単線結線図・電気室詳細図他		既存受変電室改修にともなう停電作業が発生しますが、仮設電源対応などバックアップ内容が不明につき見積出来ませんので、今回は全停電時にバックアップは不要と考えてよろしいでしょうか。その他、既存インフラ停止に伴う仮設対応など図面が添付されていないものは共通と考えます。	お考えのとおりです。
249	空調設備	M特1 A05	特記仕様書(1)内装仕上(1)		地下2階、地下1階の飼育室及びOP室においては「じんあい測定」をすることになっておりますが、清浄度の指示は無いとの理解でよろしいでしょうか。建築仕上げをみま	ACU-B2-1、B1-1、B1-2系統及び地下1階OP室については、ISOクラス8(クラス100,000)程度とし、じんあい測定を行うものとしします。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
					すと、飼育室は天井材が有孔FKになっている上、天井裏にグラスウール敷となっており、じんあい及びバイオハザードに対する配慮がなされていないように見受けられます。よって、仮に清浄度を設定されましても性能が担保出来ないものと思慮します。	
250	空調設備	M6 M160	空調設備機器表(1)		MR I用の空冷チラー容量が機器表では50kw、MR I仕様書では63kwと相違がございます。M-6図が正との認識でよろしいでしょうか。	M-6図が正です。
251	空調設備	M6	空調設備機器表(1)		SP-1 太陽光集熱パネル付属品の空冷式放熱器ですが、メーカーリストに記載のどのメーカーも対応不可との回答でした。製造業者・参考型番等をご教示願います。	空冷式放熱器については、井上ヒーター(株)又はユアサ商事(株)より選定してください。
252	空調設備機器	M7	空調設備機器表(2)	右下	外気温湿度条件表に8時間系統と24時間系統の記載がございますが、8時間稼働する居室と24時間稼働する居室が解る資料(部屋名ごとに稼働時間が解る一覧表等)をご提示ください。	M-8~13図によるものとします。
253	空調設備	M11 A07	機器表(6)内装仕上(3)		4階、5階特別実験室は、建築図では【クリーンルーム】という表記となっておりますが、空調設備図では一般的な天井カセット型エアコンでありクリーンルーム仕様となっております。清浄度指定もございません。よって、当該実験室はクリーンルームではないとの理解でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
254	空調設備	M29 M36	空調設備R階平面図		屋上に熱源配管類が密集しますが、配管架台など屋上スラブ面から立ち上げると後々防水補修の施工が難しくなります。それを回避するため、配管用の基礎をスラブから直接立ち上げる必要がございますが、本事業ではこのような対応をしなくてもよろしいでしょうか。	基礎を直接スラブより立ち上げる必要はありませんが、極力、将来の防水改修に配慮してください。
255	自動制御設備	M68	自動制		ヘリウム回収装置制御盤及び	ヘリウム回収装置盤の警報

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
		M153 M157	御設備 中央管理点 一覧表(4)		高圧蒸気滅菌装置に警報が見当たりませんが、中央監視警報として発報させなくてよろしいでしょうか。	は別途工事とし、高圧蒸気滅菌装置の警報は一括警報にて中央監視装置に取り込むこととします。
256	自動制御設備	M68 M158	中央管理点 一覧表(4)		M158図以降の医療器具類は、警報類を中央監視へ出さないと考えてよろしいでしょうか。現在中央監視に点数がございません。	お考えのとおりです。
257	給排水設備	M118	給排水 衛生ガス設備 配管系統図		給水設備において、既存井水管より分岐の井水を主に使用する計画となっておりますが、飲用可であり衛生器具類に適合した水質であると判断してよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
258	給排水設備	M131	給排水 衛生ガス設備 外構図		上水、井水、は不断水工法や既存バルブからの分岐取り出しの計画となっているため、既存建屋が断水するなどの支障はないものとして見積を致しますがよろしいでしょうか。支障がある場合は、仮設対応内容をご教示願います。	お考えのとおりです。
259	屋外排水	M133	給排水設備 屋外排水 平面図		排水を仮設汚水槽へ接続替える際、排水系統にある既存建屋を断水できるものと考えてよろしいでしょうか。仮設対応する為の仮設図がありませんが断水出来ない場合はインバート柵内改修が出来ません。	お考えのとおりです。ただし、施工時期については調整を行い、極力短時間での計画としてください。
260	特殊ガス設備	M156	特殊ガス設備 屋外配管 平面図		ヘリウムは既存配管から分岐取り出しとなっておりますが、既存建屋へのヘリウム供給がいったん停止することが予想されます。仮設対応の図面がないため、仮設対応無しとの認識でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。ただし、施工時期については調整を行い、極力短時間での計画としてください。
261	共通管理室の使用	A-10	B1階・1階 平面図		平成26年2月10日公表の要求水準書(案)に関する質問回答NO34において、資機材や消耗品を保管する倉庫や、清掃員の更衣室や休憩室として共通管理室の一部を提供することも可能とありますが、共通管理室以外に清掃用倉庫として貸与いただける諸室は他にはないのでしょうか。	共通管理室以外の貸与スペースは想定しておりません。

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
262	清浄度				本物件に於いて清浄度についての資料を頂戴しておりませんが、清浄度測定・クリーン清掃費及び該当区域系統ダクトのシール工事等の費用に影響しますので、清浄度についての資料をご提示願います。	ACU-B2-1、B1-1、B1-2系統及び地下1階OP室については、ISOクラス8（クラス100,000）程度とします。
263	内部仕上	共通			設備図面の部屋名の直天部分と建築内部仕上表が異なっております。建築内部仕上表を正と考えてよろしいでしょうか。	建築内部仕上表が正です。
264	ダクト材質	M特2	特記仕様書(2)		ダクト材質の項目においてFE-B2の系統はSUSと特記に記載されておりますが、FE-B2-1、2、FE-B1-1～4のファン材質が耐食仕様のダクトは亜鉛度鉄板と考えてよろしいでしょうか。	M-特2図、M-18図の記載どおりとします。
265	排気ファン	M特3 M56	特記仕様書(3) 空調換気設備R階平面図		R階平面図にドラフト用排気ファン設置参考図が記載されていますが、この参考図通りに送風機の付属品として対応できる製造業者がM-特3記載の製造業者リストにありません。製造業者リスト以外のドラフト用排気ファンで見積してよろしいでしょうか。	M-特3記載の製造業者の他、協和加工(株)又はセイコー化工機(株)より選定してください。
266	換気設備機器	M14	換気設備機器表(1)		HEU-1-3が天吊埋込形と記載されておりますが、平面図ではカセット形となっております。平面図を正と考えてよろしいでしょうか。	平面図が正です。
267	換気設備機器	M14	換気設備機器表(1)		HEU-B1-1、HEU-3-1がカセット形と記載されておりますが、平面図ではダクト形となっております。カセット形と考えてよろしいでしょうか。ダクト形の場合は制気口の仕様及びサイズをご指示下さい。	ダクト形とします。制気口はM-46図（B1休憩室）、M-47図（3会議室（西））に記載のとおりとします。
268	換気設備機器	M17 M50	換気設備機器表(4) 空調換気設備5階平面図		地下1階 洗浄室排気系統のCAV-B1-102が機器表に表記されております。機器の能力・仕様をご提示下さい。	M-16図に記載のとおりとします。
269	既存水質監視制御	M92	自動制御設備 既存水		既存水質監視制御盤について、改造工事の具体的な工事内容をご指示下さい。	M-92図に記載のとおり、監視ポイントの追加およびサマリグラフ表示ソフトウ

番号	質問項目	図面番号	図面名称	記載位置	質問	回答
			室監視 装置改 修図			エアの更新です。

### ⑨ その他に関する質問回答

番号	質問項目	-	-	-	-	-	-	-	-	質問	回答
270	現場着工時の 地盤レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	現場着工時の敷地内地盤レベルが分かる図面をいただけないでしょうか。	A-126図を参照してください。
271	設備用梁貫通 孔施工か所	-	-	-	-	-	-	-	-	地中梁・RC梁別に径毎の設置か所数をご教示願います。	電気設備では、梁貫通は特にありません。 機械設備では、 【地中梁】100φ(122ヶ所)、125φ(55ヶ所)、150φ(165ヶ所) 【RC】100φ(110ヶ所)、125φ(17ヶ所)、150φ(7ヶ所)、175φ(6ヶ所)とします。

## 入札説明書等に関する追記事項

### 1 入札説明書P49・50の「注意書」を下記のように修正します。

#### ＜修正前＞

※ 標準仕様の一部を取止めて、付帯事業のために付加される範囲がある場合は、当該取止めた範囲に相当する施設整備業務に係る費用は、本事業のサービス購入費に含めない。

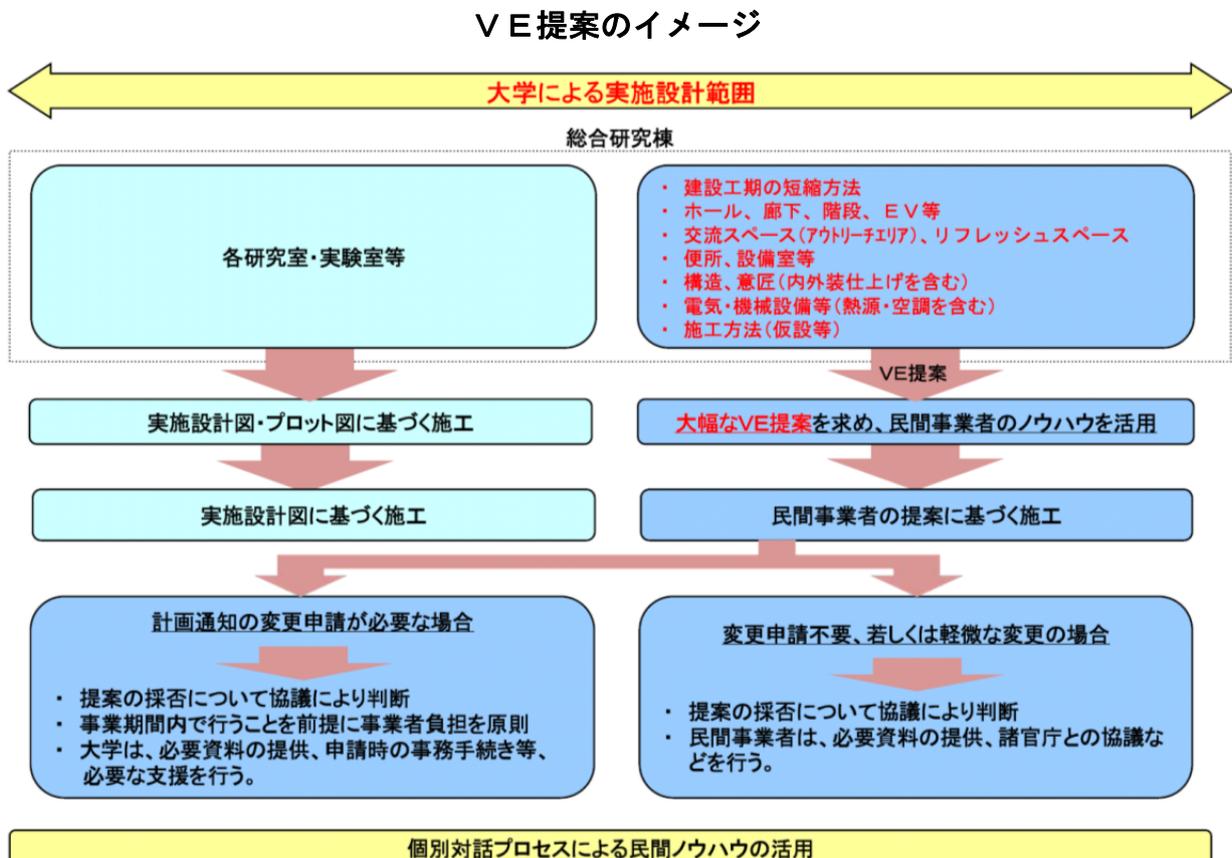
※ 上記(1)から(3)の共通事項

#### ＜修正後＞

※3 標準仕様の一部を取止めて、付帯事業のために付加される範囲がある場合は、当該取止めた範囲に相当する施設整備業務に係る費用は、本事業のサービス購入費に含めない。

上記(1)から(3)の共通事項 (※1、※2)

### 2 入札説明書P46に下図を追記します。



3 要求水準書P21の「2) 薬学部総合研究棟」、「3) 薬学部本館(薬学部別館を含む。)」を下記のように変更します。

<変更前>

- 2) 薬学部総合研究棟
  - ・ 1階の最終退館扉の警備(最終退館扉よりの不正侵入等、フラッシュライト設置を含む。)
  - ・ 火災報知器の発報に基づく火災の警備
- 3) 薬学部本館(薬学部別館を含む。)
  - ・ 薬学部本館1階の事務室(約160㎡)、管理室・休憩室(約40㎡) 及び薬学部別館1階の事務室(約60㎡)の警備(窓及び扉(最終退室扉を含む。))等の開口部よりの不正侵入等、最終退室扉のフラッシュライト設置を含む。)
  - ・ 薬学部本館1階事務室内の重要備品(書庫等3点)の警備(移動・開扉等の不正接触等)
  - ・ 火災報知器の発報に基づく火災の警備
  - ・ エレベータ閉じ込め通報に基づく警備

<変更後>

- 2) 薬学部総合研究棟
  - ・ フラッシュライトの設置
  - ・ 火災報知器の発報に基づく火災の警備
- 3) 薬学部本館
  - ・ 薬学部本館1階の事務室(約160㎡)、事務室(約60㎡)、管理室・休憩室(約40㎡)の警備(窓及び扉(最終退室扉を含む。))等の開口部よりの不正侵入等、最終退室扉のフラッシュライト設置を含む。)
  - ・ 薬学部本館1階事務室内の重要備品(書庫等3点)の警備(移動・開扉等の不正接触等)
  - ・ 火災報知器の発報に基づく火災の警備
  - ・ エレベータ閉じ込め通報に基づく警備

